無線ケーブルモデムゲートウェイ

BCW710J

設定マニュアル

株式会社ブロードネットマックス

Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

目次

①はじめに ・・・ 2

②無線LAN簡単設定
無線基本設定 ・・・ 4
無線暗号化設定 ・・・ 5

③基本設定
IPネットワーク ・・・ 9
DHCP設定 ・・・ 10
IPv6接続端末 ・・・ 11
DDNS設定 ・・・ 12
バックアップ ・・・ 13
ログイン設定 ・・・ 14

④無線LAN設定
無線n/g/b(n/a) 設定 ・・・ 15
プライマリネットワーク ・・・ 16
セカンダリネットワーク ・・・ 20
アクセス制限 ・・・ 25
無線ブリッジ ・・・ 26
WMM設定 ・・・ 27

⑤詳細設定
ゲートウェイオプション ・・・ 28
IPアドレスフィルタ ・・・ 29
MACアドレスフィルタ ・・・ 30
ポートフィルタ ・・・ 31
ポートフォワード（ポート開放） ・・・ 32
ポートトリガー ・・・ 33

⑥初期化
設定初期化 ・・・ 34

付録
無線LAN対応機器情報 ・・・ 35

Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

はじめにお読みください

このたびは、無線ケーブルモデムゲートウェイ「BCW710J」（以下、本製品）をご使用いただきましてありがとうございます。
お使いになる前に、本製品の機能を十分にいかして正しくご利用いただくために、本製品同梱の「取扱説明書」もあわせてお読みください。

「取扱説明書」には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくための重要な内容を記載しています。
お読みになったあとは、必ず大切に保存してください。

無線LAN規格について

本製品は、2.4GHzの周波数帯を使用するIEEE802.11b/g/nと、5GHzの周波数帯を使用するIEEE802.11a/nの無線LAN規格に対応しています。
本書の35ページ目に「無線LAN対応機器情報」を掲載しています。

無線LANセキュリティーについて

無線LANのセキュリティー設定が不十分であった場合、無線LAN環境を他人が使用し、ウイルスをばらまいたり、不正アクセスの踏み台などの犯罪に悪用される危険性があります。

本書について

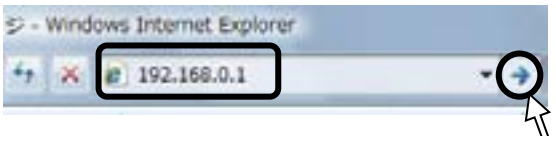
本書は、本製品についてのネットワーク設定をWEB画面に沿って説明しています。
本製品とWEB画面を確認する機器（パソコンなど）とのネットワークがあらかじめ接続されていることを確認してください。接続できない場合は、「取扱説明書」を再度お読みください。

本書は、予告なく変更、修正することがあります。また、ファームウェアのバージョンにより画面が多少異なることがあります。

本書の著作権は、株式会社ブロードネットマックスに帰属しています。

Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

（1）本製品とパソコンとのネットワークが接続している状態で、Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動して、Webブラウザのアドレスバーに「192.168.0.1」（本製品の管理用IPアドレス）と入力し、キーボードのENTERキーまたはWebブラウザのアクセスボタンをクリックします。

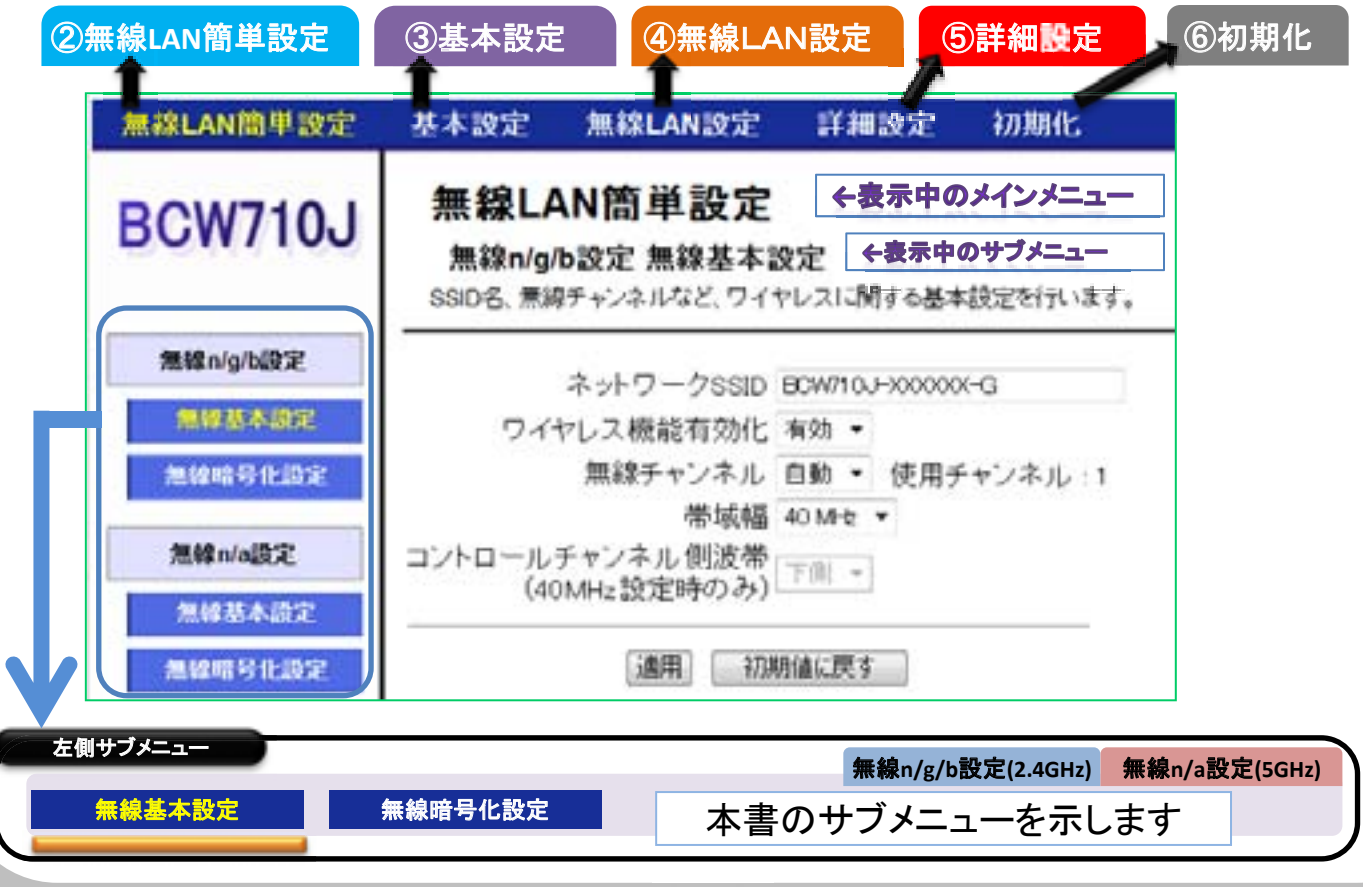


＊お客様で管理用IPアドレスを設定された場合は、設定内容が反映されます。
＊本製品の無線LANのセカンダリネットワークからは本WEBページへのアクセスはできません。

（2）ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されますので、入力後にO.Kボタンをクリックします。本製品のユーザー名とパスワードは、本製品の側面にあるラベルに記載されている「ユーザー名」「パスワード」をご確認ください。

＊お客様でユーザー名とパスワードを設定された場合は、設定内容が反映されます。

（3）認証に成功しますと、以下のような画面が表示されます。
メニュー毎に各章をお読みください。

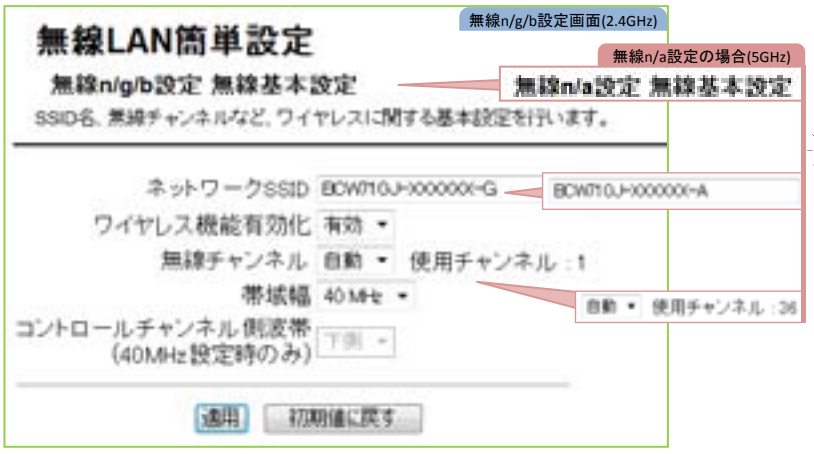


Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

無線n/g/b設定(2.4GHz)　無線n/a設定(5GHz)

無線基本設定　無線暗号化設定

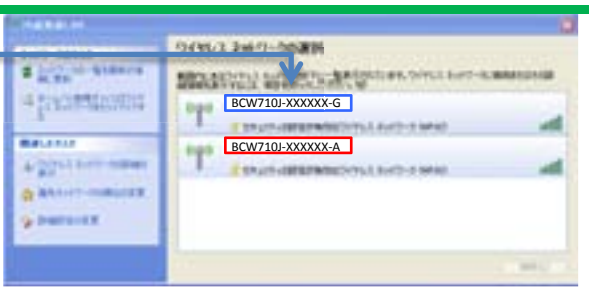


本設定内容についてはそのままの設定でご使用いただけます。

異なるアクセスポイントが複数表示された場合は電波が込み合っている可能性があります。
電波の干渉により、通信速度の低下や、接続が不安定になることがあります。

使用する無線チャンネルを変更することで、改善される場合があります。

ネットワークSSID BCW710J-XXXXXX-G



無線LANで使用するアクセスポイントの識別名を指定します。
初期値：本製品の側面にあるラベルに記載されている「プライマリーSSID」をご確認ください。
無線n/g/b 設定の初期値は末尾が[-G]です。
無線 n/a 設定の初期値は末尾が[-A]です。

ワイヤレス機能有効化 有効

無線n/g/b 設定：無線LAN(n/g/b)のワイヤレス機能を有効にするか指定します。
無線 n/a 設定：無線LAN (n/a) のワイヤレス機能を有効にするか指定します。
初期値： 有効

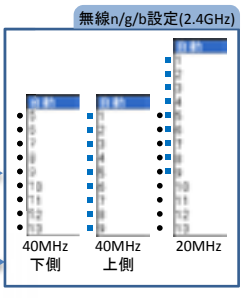
◆【無線LAN設定】⇒【無線n/g/b(またはn/a)設定】⇒[ワイヤレス機能有効化]と同じ項目となります。

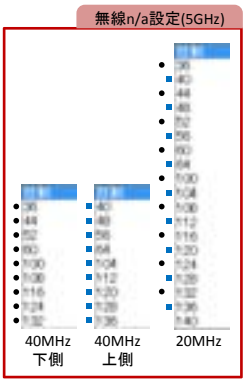
無線チャンネル 自動 使用チャンネル：1

無線n/g/b設定：無線LAN(n/g/b)で使用する電波のチャンネルを指定します。
無線 n/a 設定：無線LAN (n/a) で使用する電波のチャンネルを指定します。
自動の場合、周囲の電波状況に応じてチャンネルが選択され、
使用チャンネル：Xとして表示されます。

同じ無線チャンネルを使用した機器が周囲にある場合、干渉することがあります。
初期値： 自動　　36ch～64chは屋外での使用が電波法で禁止されています。

◆【無線LAN設定】⇒【無線n/g/b (またはn/a)設定】⇒[無線チャンネル]と同じ項目となります。



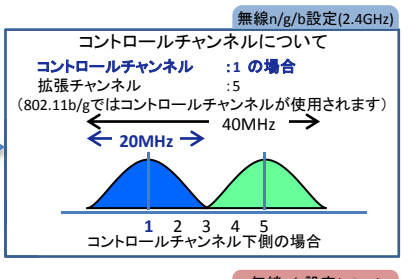


帯域幅が20MHzの場合と、帯域幅が40MHzのコントロールチャンネルが下側、上側の場合によって選択できるチャンネルが上図のように異なります。

帯域幅 40 MHz　20 MHz / 40 MHz

無線n/g/b 設定：無線LAN 802.11n（2.4GHz）で使用する帯域幅を指定します。
無線 n/a 設定：無線LAN 802.11n（5 GHz）で使用する帯域幅を指定します。
802.11 b/g 、802.11 aでは20MHzの帯域幅を使用します。
802.11n では20MHzのほか、40MHz を使用することでより高速な通信を実現します。
同じ無線チャンネルを使用した機器が周囲にある場合、40MHzを指定していても20MHzとして動作することがあります。また、【無線LAN設定】⇒【無線n/g/b (またはn/a)設定】の「802.11nモード」の設定が無効の場合、40MHzを選択できません。
（802.11nの規格ではWEPが非サポートのため、セキュリティーWEPを使用した場合「802.11nモード」設定が無効となります。）
初期値： 40MHz

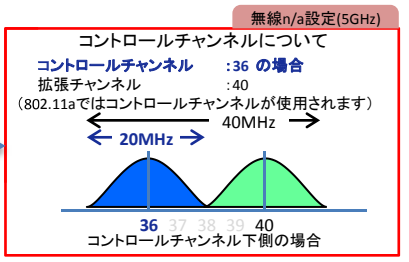
◆【無線LAN設定】⇒【無線n/g/b (またはn/a)設定】⇒[帯域幅]と同じ項目となります。



コントロールチャンネル側波帯 (40MHz設定時のみ) 下側　下側 / 上側

無線LAN 802.11n で使用する帯域幅を40MHzに指定した場合において、隣り合う20MHzのチャンネルのうちコントロールチャンネルとして下側と上側のどちらを使用するか指定します。
「無線チャンネル」設定が手動の場合のみ設定可能となります。
初期値： 下側

◆【無線LAN設定】⇒【無線n/g/b (またはn/a)設定】⇒[コントロールチャンネル側波帯]と同じ項目となります。



適用　初期値に戻す

・上記の変更内容を反映させる場合は、**[適用]**ボタンを押します。
・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、**[初期値に戻す]**ボタンを押します。

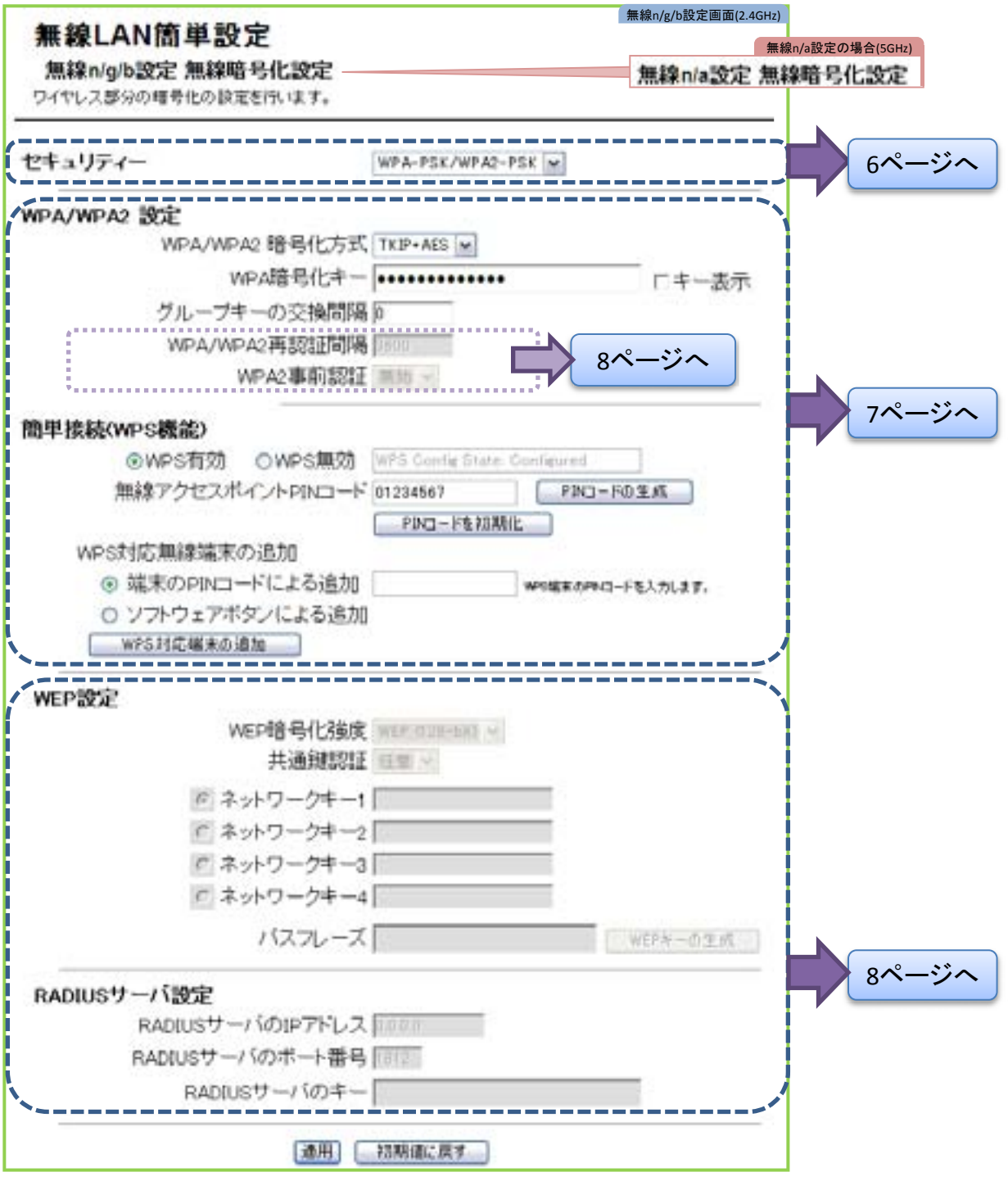
Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

②無線LAN簡単設定

左側サブメニュー

無線n/g/b設定(2.4GHz) 無線n/a設定(5GHz)

無線基本設定 | 無線暗号化設定



無線n/g/b設定：無線LAN(n/g/b)の無線LAN簡単設定画面です。
無線 n/a 設定：無線LAN (n/a) の無線LAN簡単設定画面です。

（各設定内容は該当するページを参照してください。）

・上記の変更内容を反映させる場合は、**[適用]**ボタンを押します。
・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、**[初期値に戻す]**ボタンを押します。

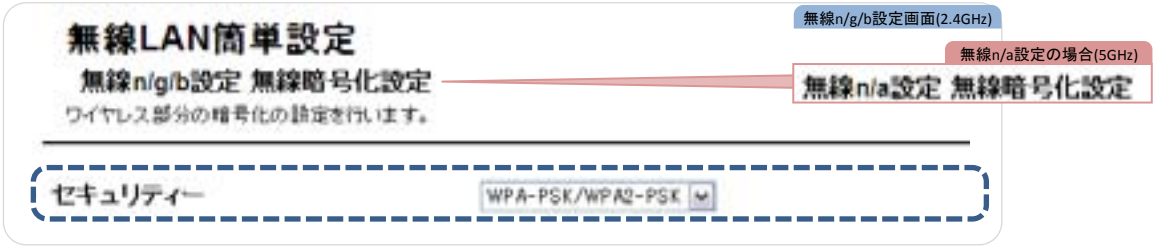
Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

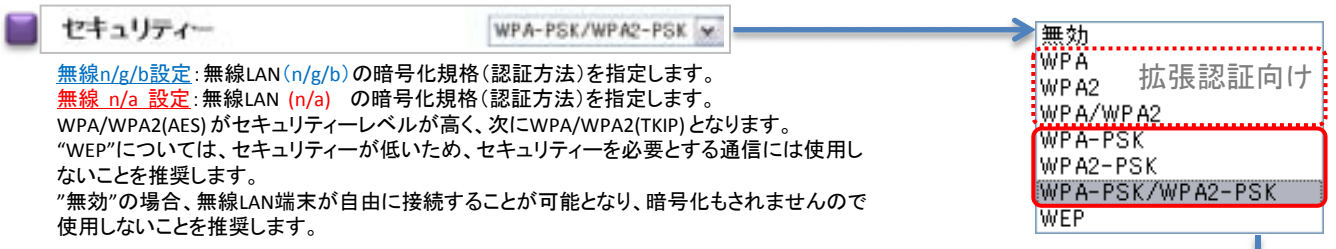
左側サブメニュー

無線n/g/b設定(2.4GHz)　無線n/a設定(5GHz)

無線基本設定　無線暗号化設定

セキュリティー設定





無線n/g/b設定：無線LAN（n/g/b）の暗号化規格（認証方法）を指定します。
無線 n/a 設定：無線LAN (n/a) の暗号化規格（認証方法）を指定します。
WPA/WPA2(AES) がセキュリティーレベルが高く、次にWPA/WPA2(TKIP)となります。
“WEP”については、セキュリティーが低いため、セキュリティーを必要とする通信には使用しないことを推奨します。
”無効”の場合、無線LAN端末が自由に接続することが可能となり、暗号化もされませんので使用しないことを推奨します。

初期値：WPA -PSK/WPA2-PSK

セキュリティー	無効	WPA	WPA2	WPA/WPA2	WPA-PSK	WPA2-PSK	WPA-PSK/WPA2-PSK	WEP
外部認証サーバ	―	必要	必要	必要	不要	不要	不要	不要
一般家庭向け	△	×	×	×	○	◎	◎	△

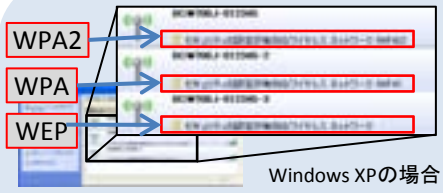
“WPA”,”WPA2”,”WPA/WPA2”は拡張認証向けです。”WPA-PSK”,”WPA2-PSK”,”WPA-PSK/WPA-PSK2”をご使用ください。
“WPA-PSK”,”WPA2-PSK”の「PSK(Pre-Shared Key)」は認証方式となり、共有キーを使用して認証・暗号化します。

【WPA-PSK/WPA2-PSK】は【WPA-PSK】、【WPA2-PSK】の混在モードです。接続端末が両方の暗号化規格に対応している場合、【WPA2-PSK】が使用されます。通常はそのままでご使用いただけます。
簡単設定（プライマリネットワーク）のセキュリティーを【WPA-PSK】、【WPA2-PSK】、【WPA-PSK/WPA2-PSK】以外に設定した場合、簡単接続（WPS機能）が無効となります。

一部のゲーム機などで【WEP】のみ対応の場合は、本設定をWEPにすると、他の無線LAN機器のセキュリティが低下します。そのため、セカンダリネットワークのみをWEPに設定して、プライマリネットワークと分けて使用することでセキュリティー低下を抑えることができます。【無線LAN設定⇒（無線n/g/b設定または、無線n/a設定）セカンダリネットワーク】

802.11nの規格ではWEPが非サポートのため、セキュリティー【WEP】を使用した場合、「802.11nモード」設定が無効となります。

20ページへ



Windows XPの場合

Windows 7の場合

無線LANセキュリティーの表示例

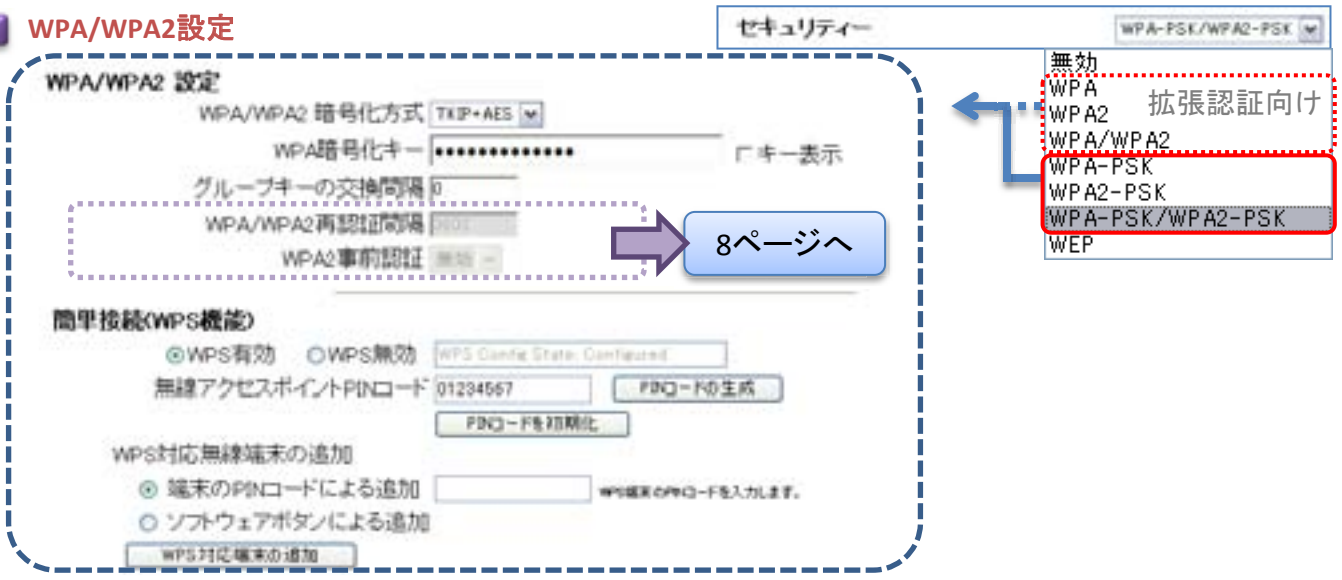
暗号化規格別セキュリティーレベル

セキュリティー設定	無効	WEP (64-bit)	WEP (128-bit)	WPA/WPA2 (TKIP)	WPA/WPA2 (AES)
セキュリティーレベル	なし	低←			→高

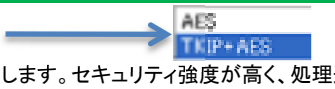
Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー
無線n/g/b設定(2.4GHz) 無線n/a設定(5GHz)
無線基本設定 無線暗号化設定

WPA/WPA2設定



WPA/WPA2 暗号化方式 TKIP+AES



WPA及びWPA2で使用する暗号化方式を指定します。セキュリティ強度が高く、処理速度の低下のない[AES]のみか、互換性を優先して両対応の[TKIP+AES]を選択します。[TKIP+AES]の設定の場合、無線LAN端末が両対応であれば[AES]を使用します。
(TKIPで接続した場合、最大転送速度は54Mbpsに制限されます。)

初期値:TKIP+AES

WPA暗号化キー

【WPA暗号化キー】は7文字以下の場合エラーとなります。
文字数は13文字以上を推奨します。

WPA-PSK、WPA2-PSKで使用するWPA暗号キーを指定します。また、[キー表示]のチェックを入れると使用中の暗号化キーを確認することができます。

初期値:本製品側面のラベルに記載されている「WPA暗号キー」をご確認ください。

グループキーの交換間隔 0

グループキーの交換間隔を秒単位で指定します。

初期値:0

必要な場合以外は変更しないでください。

簡単接続(WPS機能)

Windows PCのWPSを使用して別のアクセスポイントに変更する場合、PCの再起動が必要になる場合があります。

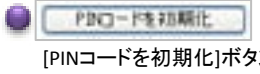
WPS対応端末では、WPS(Wi-Fi Protected Setup)機能を利用して、WPA-PSK または、WPA2-PSKのセキュリティーに簡単接続することができます。
WPS機能の有効/無効を指定します。本機能はセキュリティーが"WPA-PSK","WPA2-PSK", "WPA-PSK/WPA2-PSK" 以外では利用できません。

初期値:WPS有効

本製品のPINコードをWPS対応端末に登録する場合

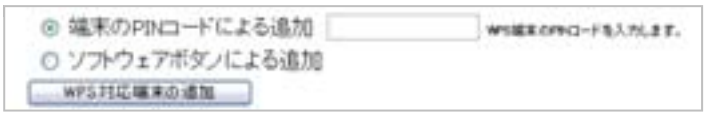
無線アクセスポイント(本製品)側のPINコードが表示されます。
このPINコードをWPS対応端末に登録することで接続することができます。

[PINコードの生成]ボタンを押すと、新しいPINコードが生成されます。

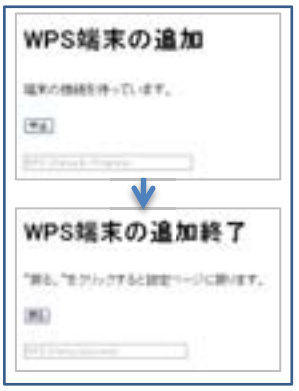


[PINコードを初期化]ボタンを押すと初期のPINコードに戻ります。

WPS対応端末のPINコードを本製品に登録する場合



WPS対応端末を操作し、端末側のPINコード確認します。
次に、上図の[端末のPINコードによる追加]を選択し、右側の入力欄に端末側のPINコードを入力します。
[WPS対応端末の追加]ボタンを押すと、右のような[WPS端末の追加]画面に切り替わり、接続が問題なく完了すると、[WPS端末の追加終了]画面に切り替わります。



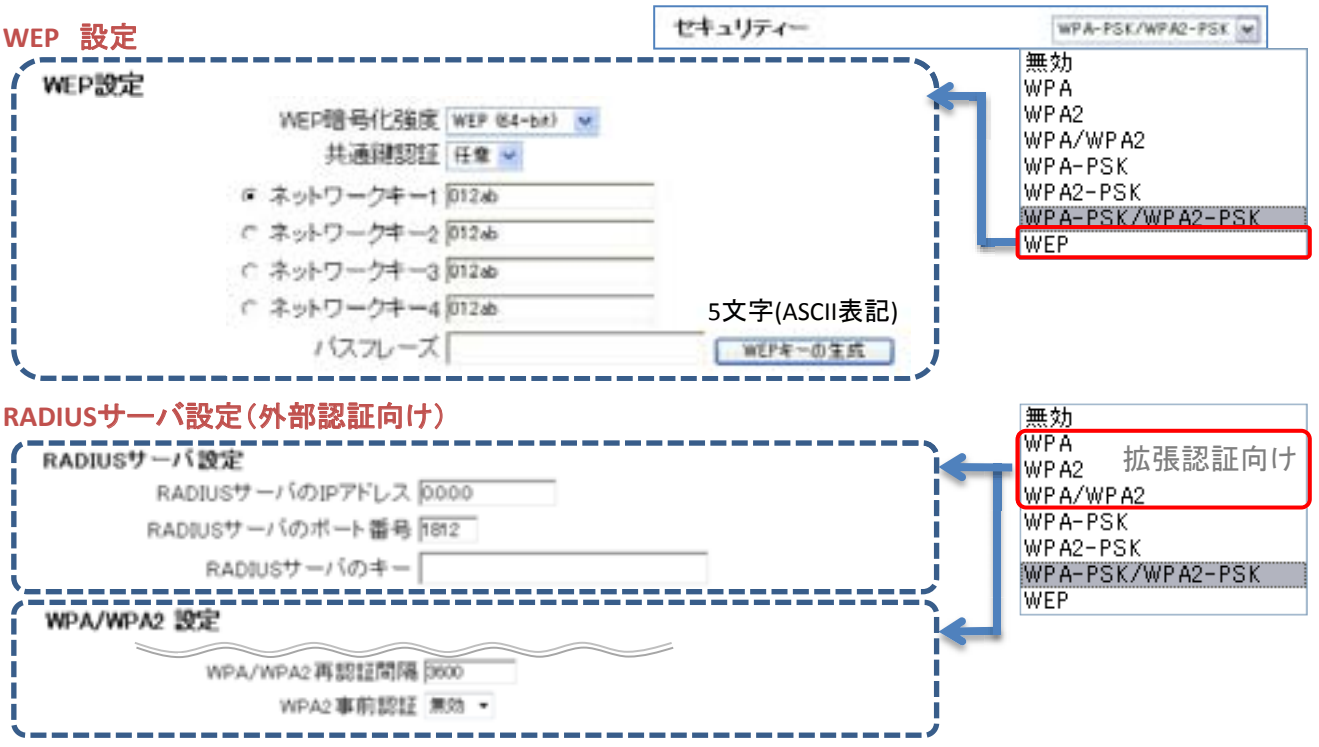
WPS対応端末のプッシュボタン方式を使い登録する場合

WPS対応端末を操作し、端末側のWPS押しボタンまたは、それに相当する機能を有効にします。
次に、上図の[ソフトウェアボタンによる追加]を選択します。
[WPS対応端末の追加]ボタンを押すと、右のような[WPS端末の追加]画面に切り替わり、接続が問題なく完了すると、[WPS端末の追加終了]画面に切り替わります。

Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー
無線n/g/b設定(2.4GHz) 無線n/a設定(5GHz)
無線基本設定 無線暗号化設定

WEP 設定



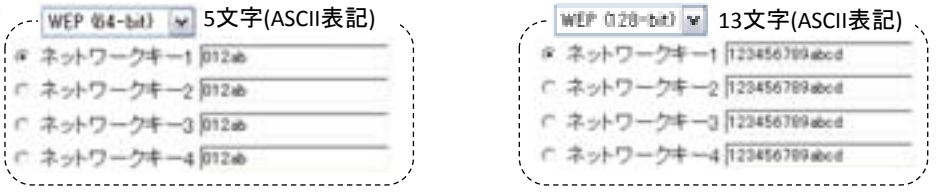
RADIUSサーバ設定(外部認証向け)

セキュリティーの項目を"WEP"に設定した場合に本設定が表示されます。WEP接続の暗号化強度を指定します。
WPA/WPA2と比べ、セキュリティ強度は低くなります。WPA/WPA2と共存させる場合はセカンダリSSID(サードSSID)を使用します。

初期値:WEP(128-bit) ・・・セキュリティ:WEP設定時

必要な場合以外は変更しないでください。

無線LAN接続の認証にWEPキーを用いて認証するか指定します。
必須の場合はWEPキーを用いて認証しますが、端末側の設定が対応していない場合接続することができません。
初期値:任意



無線LAN暗号化方式WEPのネットワークキーの確認と変更ができます。ネットワークキーはWEP暗号化強度によって文字数が決まっています。
文字数の過不足があるとエラーが表示されます。ネットワークキーは4つまで設定することが可能です。
ネットワークキーの初期値 : (自動生成)
使用するネットワークキー :ネットワークキー:1

接続端末の初期値は、ネットワークキー1が使用されますので、必要な場合以外は変更しないでください。

ネットワークキーの文字列をパスフレーズより自動生成することができます。
パスフレーズに文字列(英数字)を入力し、[WEPキーの生成]ボタンを押すとネットワークキー1~4全てに同じ文字列が生成され、設定されます。

RADIUSサーバ設定

外部認証用のRADIUSサーバのIPアドレスとポート番号を指定します。また、RADIUSサーバのキーを指定します。

WPA/WPA2設定

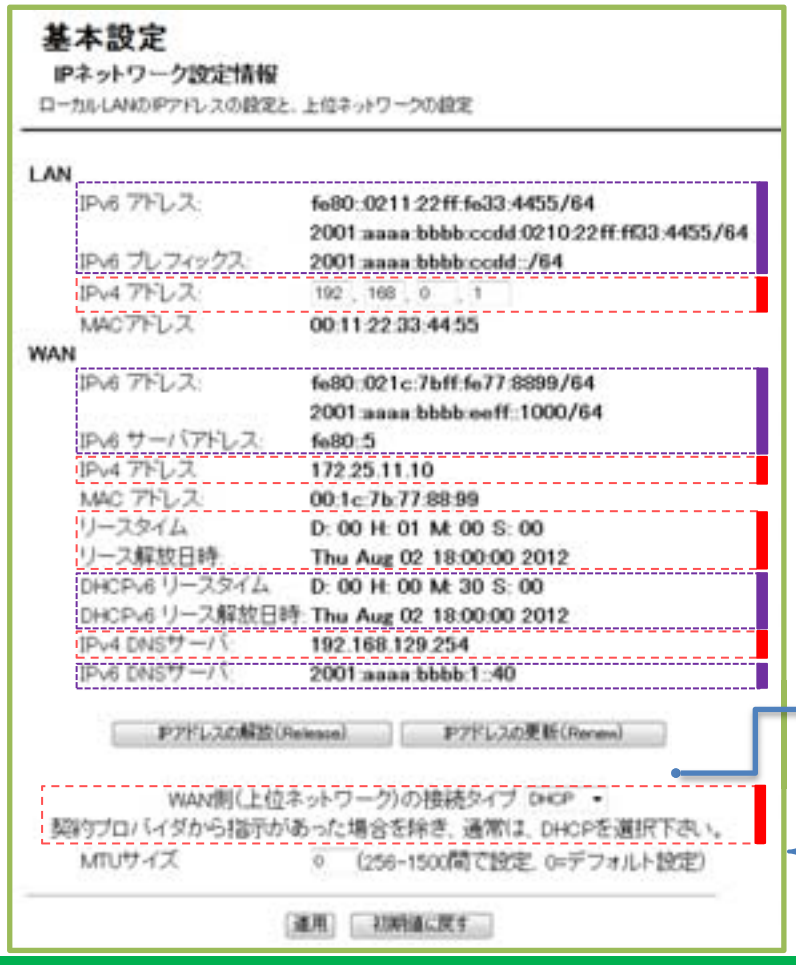
WPA/WPA2(RADIUSサーバ使用時)の、再認証間隔を指定します。

WPA2(RADIUSサーバ使用時)の、事前認証を使用するか設定します。

Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

IPネットワーク | DHCP設定 | IPv6接続端末 | DDNS設定 | バックアップ | ログイン設定



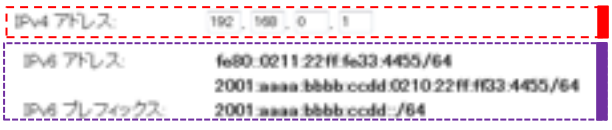
ケーブルテレビ事業者が**IPv6**サービスに対応している場合に表示されます。

ケーブルテレビ事業者が**IPv4**サービスに対応している場合に表示されます。

LAN側のIPアドレスを変更する場合 192.168.**1**.1 , 192.168.**2**.1 , 192.168.**9**.1 , 192.168.**10**.1 などは、セカンダリネットワークのDHCPサーバのアドレスで予約されているため、変更できない場合があります。この場合「DHCPのIPアドレス範囲の指定が間違っています。」というエラーが表示されます。

LAN側のIPアドレス設定

LAN側（プライベートネットワーク）で使用するIPアドレスが表示されます。



・・・ 初期値192. 168. 0. 1 （本製品シールの”管理用アドレス”に記載）

・・・ LAN側のIPv6のリンクローカルアドレスが表示されます。(fe80:)
・・・ LAN側のIPv6のグローバルアドレスが表示されます。(例 200x:)
・・・ DHCP-PDで取得したIPv6アドレスのプレフィックス部分が表示されます。

・・・ LAN側のMACアドレスが表示されます。（本製品のシールには記載されていません）

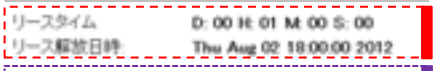
WAN側のIPアドレス設定

WAN側（上位側のネットワーク）で使用するIPアドレスが表示されます。

・・・上位ネットワークと通信するためのIPv4アドレスが表示されます。
・・・ IPv4のDNSサーバアドレスが表示されます。

・・・上位ネットワーク（同一セグメント内）と通信するためのIPv6リンクローカルアドレスが表示されます。(fe80:)
・・・上位ネットワークと通信するためのIPv6グローバルアドレスが表示されます。(例 200x:)
・・・IPv6サーバアドレスが表示されます。
・・・IPv6のDNSサーバアドレスが表示されます。

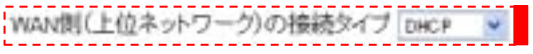
・・・上位ネットワークの通信用のMACアドレスが表示されます。(本製品シールの”WAN-MAC”に記載)



・・・IPv4アドレスのリース期間が表示されます。
・・・IPv4アドレスのリース使用期限が表示されます。

・・・IPv6アドレスのリース期間が表示されます。
・・・IPv6アドレスのリース使用期限が表示されます。

WAN側で使用するIPアドレスを再取得する場合に使用します。
[IPアドレスの解放（Release）]⇒ [IPアドレスの更新（Renew）]ボタンを押すと、即時有効となります。



ケーブルテレビ事業者から指示があった場合を除き、必ず[DHCP]を選択してください。

MTU サイズを指定します。 初期値：0

・上記の変更内容を反映させる場合に**[適用]**ボタンを押します。（[IPアドレスの解放]と[IPアドレスの更新]を除く）
・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、**[初期値に戻す]**ボタンを押します。

Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

IPネットワーク | DHCP設定 | IPv6接続端末 | DDNS設定 | バックアップ | ログイン設定

DHCPサーバ機能 有効 無効

LAN側（有線LAN、及び無線LANのプライマリネットワーク）のDHCPサーバ機能（IPアドレスの自動払い出し）の有効/無効を指定します。

開始アドレス 192.168.0. 10
終了アドレス 192.168.0. 254

IPアドレス払い出しの開始アドレスと、終了アドレスを指定します。

本製品の管理用IPアドレスの初期値は、192.168.0.1 です。

例えば、開始アドレスを10からにすることにより、2～9を固定アドレスで割り振るというような使い方が可能です。

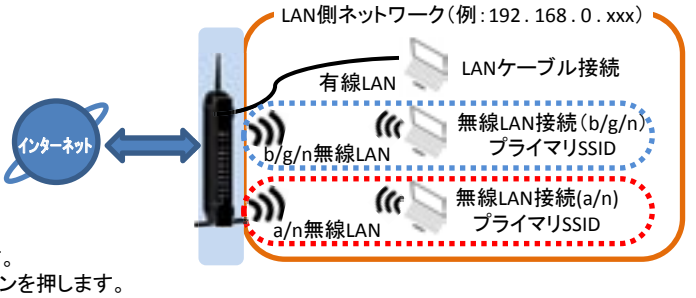
リースタイム 86400 秒

DHCPのリースタイムを指定します。

初期値： 86400 秒

適用 初期値に戻す

・上記の変更内容を反映させる場合は、**[適用]**ボタンを押します。
・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、**[初期値に戻す]**ボタンを押します。



IPアドレスの払い出し状況を確認することができます。

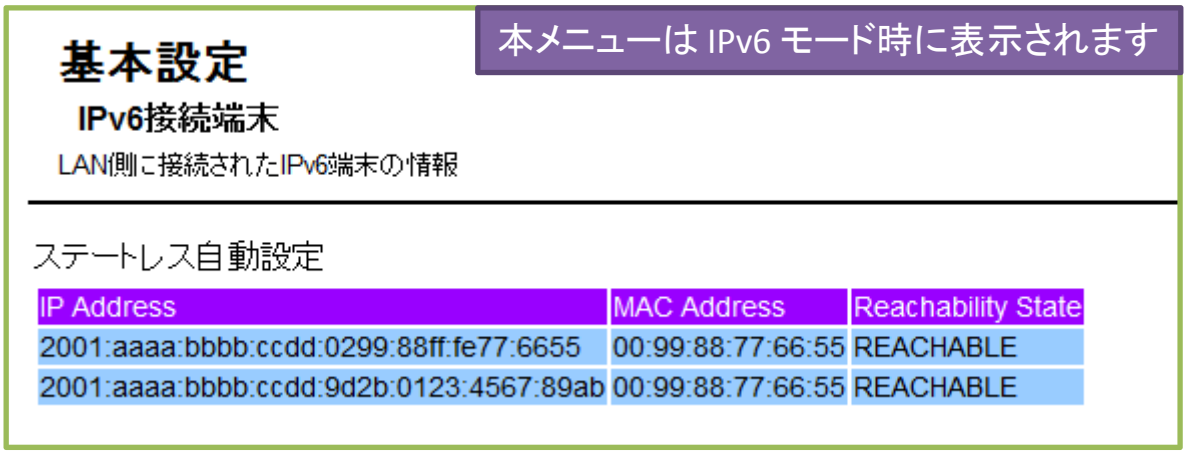
クライアントのリース情報を削除する場合は、削除する行を選択して[強制削除]ボタンを押します。

Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

IPネットワーク | DHCP設定 | IPv6接続端末 | DDNS設定 | バックアップ | ログイン設定

本メニューは IPv6 モード時に表示されます



IPv6接続端末情報

LAN側（有線LAN、及び無線LAN）に接続されたIPv6端末の情報が表示されます。

ステートレス自動設定

IP Address	MAC Address	Reachability State
2001:aaaa:bbbb:ccdd:0299:88ff:fe77:6655	00:99:88:77:66:55	REACHABLE
2001:aaaa:bbbb:ccdd:9d2b:0123:4567:89ab	00:99:88:77:66:55	REACHABLE

Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

IPネットワーク | DHCP設定 | IPv6接続端末 | DDNS設定 | バックアップ | ログイン設定

設定内容についてはそのままでご使用いただけます。
必要な場合以外は設定しないでください。

DDNS(Dynamic-DNS)サービスの有効/無効を指定します。
対応しているDDNSは"www.DynDNS.org" です。

DDNSサービスを使用するには、別途、www.DynDNS.org への会員登録（有料）が必要です。

初期値：無効

DDNSサービスで会員登録した、ユーザー名、パスワード、ホスト名を指定します。

IPアドレスとステータスの情報が表示されます。

・上記の変更内容を反映させる場合は、**[適用]**ボタンを押します。
・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、**[初期値に戻す]**ボタンを押します。

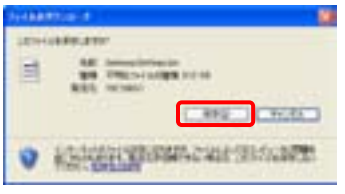
Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

本製品の設定情報をファイルに保存する場合（バックアップ）

［バックアップ］ボタンを押します。

確認画面が表示されますので、［OK］を押します。

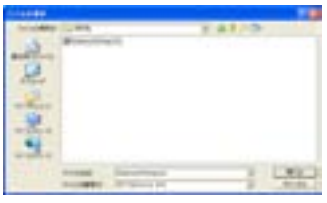


ファイルの保存画面が表示され、［保存］を押すと"GatewaySettings.bin"の名前で保存されます。

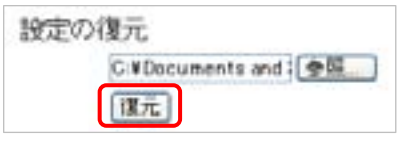
保存先例：　My Documents¥ダウンロード¥GatewaySettings.bin
（使用するブラウザによって保存先が異なります。）

保存した設定ファイルから復元する場合

［参照］ボタンを押します。



ファイルの選択画面が表示されますので、あらかじめ保存しておいた"GatewaySettings.bin"を選択し、［開く］ボタンをします。



［復元］ボタンを押します。

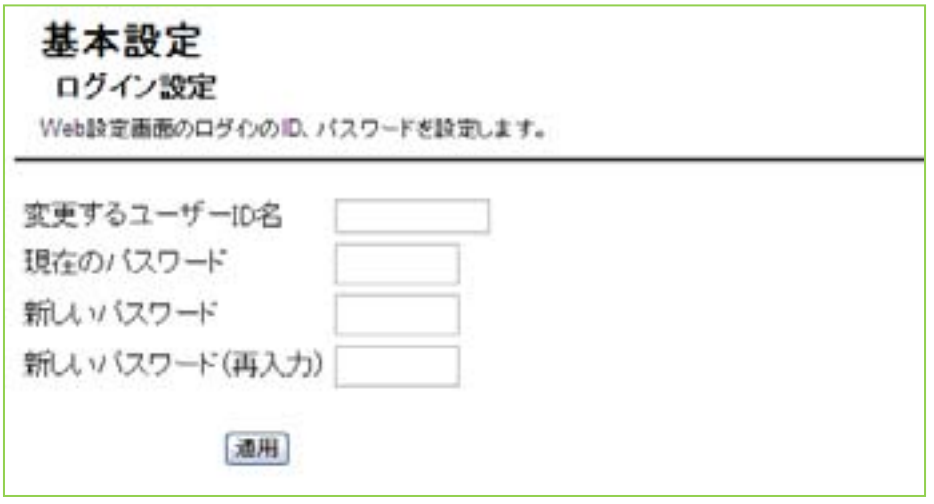
再起動確認画面が表示されます。［OK］を押すと自動的に再起動し、設定が復元されます。
本製品が再起動しますので起動が完了するまで、インターネットなどの通信が切断されます。

変更したWEBログイン用パスワードも設定ファイルに保存されます。
（SSID名も引き継がれます）

Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

IPネットワーク | DHCP設定 | IPv6接続端末 | DDNS設定 | バックアップ | ログイン設定



- 変更するユーザーID名 user

変更するユーザーID名を入力します。

現在ログインしているユーザーIDのパスワードが変更可能です。

- 現在のパスワード ●●●●

変更するユーザーIDの現在のパスワードを入力します。

- 新しいパスワード ●●●●
  新しいパスワード(再入力) ●●●●

変更するユーザーIDの新しいパスワードを入力します。
入力ミスを防ぐため、同じものを再入力します。

- 適用

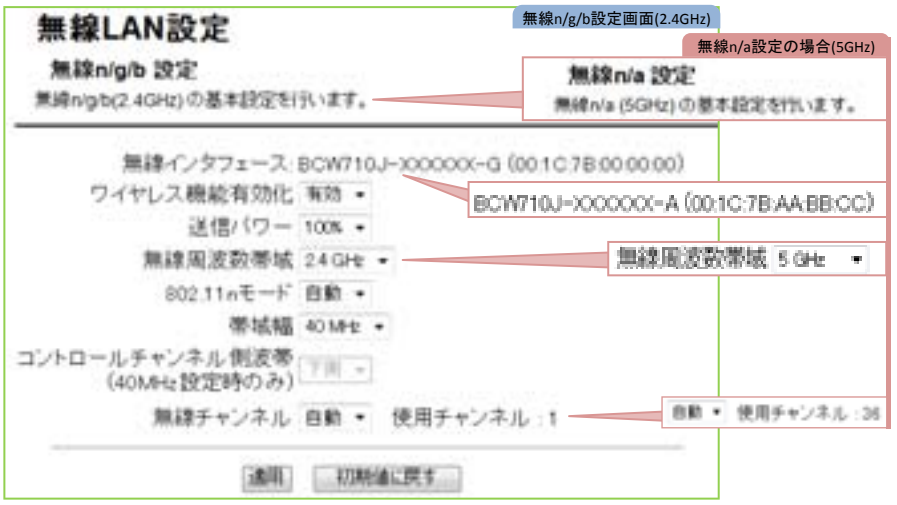
[適用]ボタンを押すと新しいパスワードに変更されます。

Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

無線n/g/b(n/a)設定 | プライマリネットワーク | セカンダリネットワーク | アクセス制限 | 無線ブリッジ | WMM設定

無線n/g/b設定(2.4GHz) 無線n/a設定(5GHz)



本設定内容についてはそのままの設定でご使用いただけます。

異なるアクセスポイントが複数表示された場合は電波が込み合っている可能性があります。電波の干渉により、通信速度の低下や、接続が不安定になることがあります。

使用する無線チャンネルを変更することで、改善される場合があります。

本製品の無線LANインターフェースの共通の設定を変更します（2.4G/5GHz別）

無線インタフェース: BCW710J-XXXXXX-G (00:1C:7B:00:00:00)

本製品の無線LANインターフェースの情報が表示されます。

ワイヤレス機能有効化 有効 → 有効 / 無効

無線n/g/b 設定：無線LAN(n/g/b)のワイヤレス機能を有効にするか指定します。
無線 n/a 設定：無線LAN (n/a) のワイヤレス機能を有効にするか指定します。
初期値： 有効

送信パワー 100% → 25% / 50% / 75% / 100%

無線n/g/b 設定：無線LAN(n/g/b)の送信パワーを指定します。
無線 n/a 設定：無線LAN (n/a) の送信パワーを指定します。
初期値： 100%

無線周波数帯域 2.4 GHz

無線n/g/b 設定：無線LAN(n/g/b) の周波数帯域が表示されます。
無線 n/a 設定：無線LAN (n/a) の周波数帯域が表示されます。
802.11 n/g/bは2.4GHz、802.11n/aは5GHz固定です。

802.11nモード 自動 → 無効 / 自動

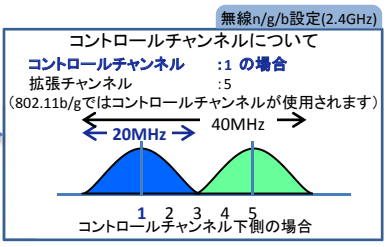
無線LAN 802.11nのモードを有効（自動）/ 無効にするかを指定します。802.11nで接続するには、無線LAN端末が規格に対応している必要があります。無効にした場合は、無線n/g/bでは802.11b(最大11Mbps), 802.11g（最大54Mbps）として動作します。無線n/aでは802.11a（最大54Mbps）として動作します。
（802.11nの規格ではWEPが非サポートのため、セキュリティー[WEP]を使用した場合「802.11nモード」設定が無効となります。） 初期値： 自動

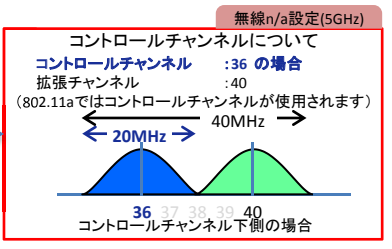
帯域幅 40 MHz → 20 MHz / 40 MHz

無線n/g/b 設定：無線LAN 802.11n（2.4GHz）で使用する帯域幅を指定します。
無線 n/a 設定：無線LAN 802.11n（5 GHz）で使用する帯域幅を指定します。
802.11 b/g 、802.11 aでは20MHzの帯域幅を使用します。
802.11n では20MHzのほか、40MHz を使用することでより高速な通信を実現します。
同じ無線チャンネルを使用した機器が周囲にある場合、40MHzを指定していても20MHzとして動作することがあります。また、「802.11nモード」の設定が無効の場合、40MHzを選択できません。
初期値： 40MHz

コントロールチャンネル側波帯 (40MHz設定時のみ) 下側 → 下側 / 上側

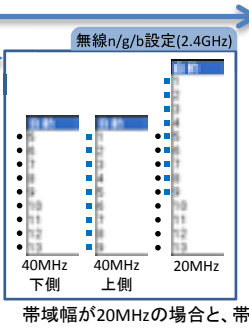
無線LAN 802.11n で使用する帯域幅を40MHzに指定した場合において、隣り合う20MHzのチャンネルのうちコントロールチャンネルとして下側と上側のどちらを使用するか指定します。
「無線チャンネル」設定が手動の場合のみ設定可能です。
初期値： 下側

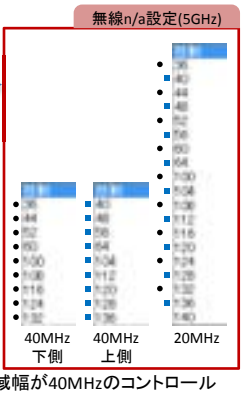




無線チャンネル 自動 使用チャンネル：1

無線n/g/b 設定：無線LAN(n/g/b)で使用する電波のチャンネルを指定します。
無線 n/a 設定：無線LAN (n/a) で使用する電波のチャンネルを指定します。
自動の場合、周囲の電波状況に応じてチャンネルが選択され、
使用チャンネル：Xとして表示されます。
同じ無線チャンネルを使用した機器が周囲にある場合、干渉することがあります。
初期値： 自動 36ch～64chは屋外での使用が電波法で禁止されています。





帯域幅が20MHzの場合と、帯域幅が40MHzのコントロールチャンネルが下側、上側の場合によって選択できるチャンネルが上図のように異なります。

適用 初期値に戻す

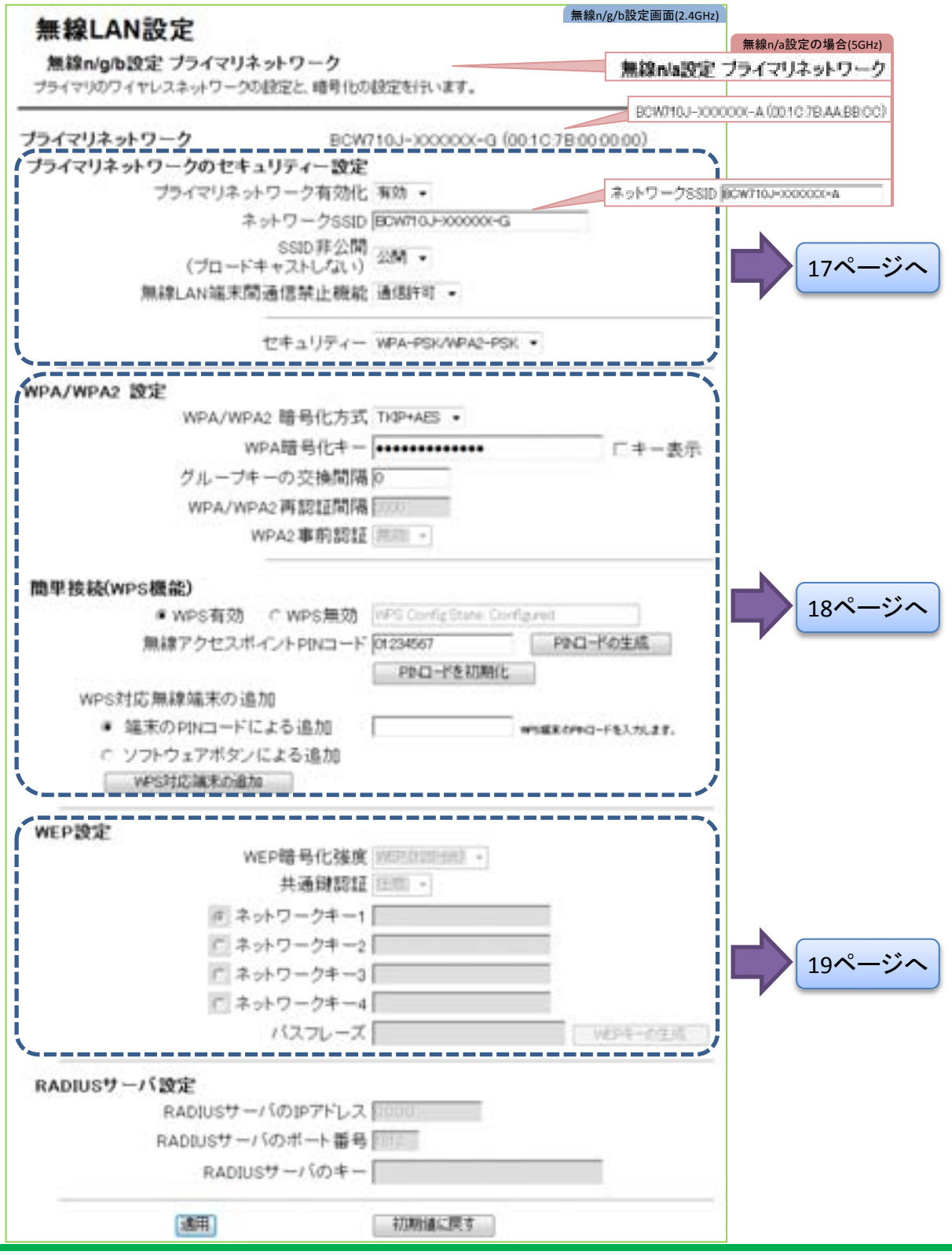
・上記の変更内容を反映させる場合は、**[適用]**ボタンを押します。
・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、**[初期値に戻す]**ボタンを押します。

Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

無線n/g/b設定(2.4GHz) 無線n/a設定(5GHz)

無線n/g/b(n/a)設定 | プライマリネットワーク | セカンダリネットワーク | アクセス制限 | 無線ブリッジ | WMM設定



プライマリネットワーク　BCW710J-XXXXXX-G (00:1C:7B:00:00:00)　・・・SSID名（MACアドレス）

無線LANのプライマリネットワークの設定を行います。
現在のプライマリネットワークのSSID名と無線LANのMACアドレスが表示されます。

適用　初期値に戻す

・上記の変更内容を反映させる場合は、**[適用]**ボタンを押します。
・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、**[初期値に戻す]**ボタンを押します。

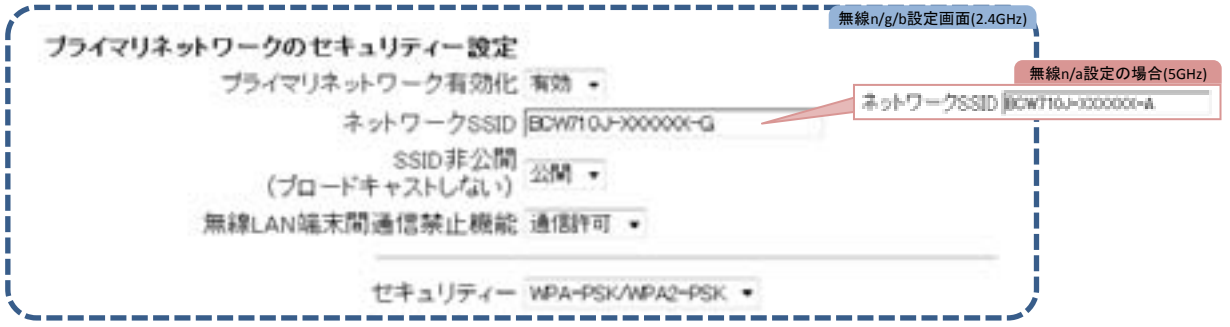
Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

④無線LAN設定

左側サブメニュー

無線n/g/b設定(2.4GHz) 無線n/a設定(5GHz)

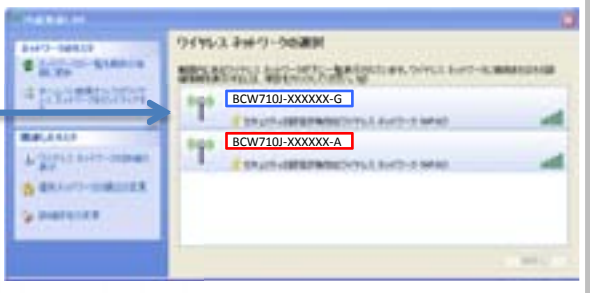
無線n/g/b(n/a)設定 | プライマリネットワーク | セカンダリネットワーク | アクセス制限 | 無線ブリッジ | WMM設定



プライマリネットワーク有効化 有効 → 無効 / 有効

無線LANのプライマリネットワークの有効/無効を指定します。
初期値：有効

ネットワークSSID BCW710J-XXXXXX-G

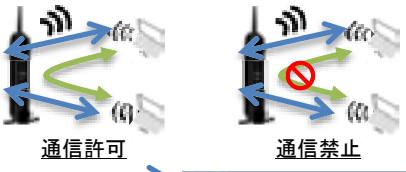


無線LANで使用するアクセスポイントの識別名を指定します。
初期値：本製品の側面にあるラベルに記載されている
「プライマリーSSID」をご確認ください。
無線n/g/b 設定の初期値は末尾が[-G]です。
無線 n/a 設定の初期値は末尾が[-A]です。

SSID非公開(ブロードキャストしない) 公開

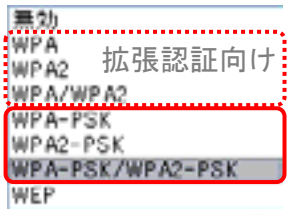
「SSID非公開」を"公開"にした場合、無線LAN端末から本ネットワークSSIDを検索することができます。"非公開"に設定した場合は、検索することができません。なお、"非公開"を選択するには、簡単接続（WPS機能）を無効にする必要があります。
初期値：公開

無線LAN端末間通信禁止機能 通信許可 → 通信許可 / 通信禁止



同じネットワークSSIDに接続している無線LAN端末間の通信を遮断することができます。
初期値：通信許可

セキュリティー WPA-PSK/WPA2-PSK



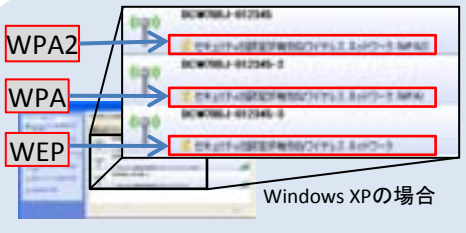
無線n/g/b設定：無線LAN（n/g/b）の暗号化規格（認証方法）を指定します。
無線 n/a 設定：無線LAN (n/a) の暗号化規格（認証方法）を指定します。
WPA/WPA2(AES) がセキュリティーレベルが高く、次にWPA/WPA2(TKIP) となります。"WEP"については、セキュリティーが低いため、セキュリティーを必要としない通信のみに使用することを推奨します。"無効"の場合、無線LAN端末が自由に接続することが可能となり、暗号化もされませんので使用しないことを推奨します。
初期値：WPA-PSK/WPA2-PSK

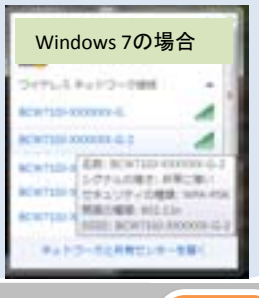
セキュリティー	無効	WPA	WPA2	WPA/WPA2	WPA-PSK	WPA2-PSK	WPA-PSK/WPA2-PSK	WEP
外部認証サーバ	–	必要	必要	必要	不要	不要	不要	不要
一般家庭向け	△	×	×	×	○	◎	◎	△

"WPA","WPA2","WPA/WPA2"は拡張認証向けです。"WPA-PSK","WPA2-PSK","WPA-PSK/WPA-PSK2"をご使用ください。
"WPA-PSK","WPA2-PSK"の「PSK(Pre-Shared Key)」は認証方式となり、共有キーを使用して認証・暗号化します。

【WPA-PSK/WPA2-PSK】は【WPA-PSK】、【WPA2-PSK】の混在モードです。接続端末が両方の暗号化規格に対応している場合、【WPA2-PSK】が使用されます。通常はそのままでご使用いただけます。簡単設定（プライマリネットワーク）のセキュリティーを【WPA-PSK】、【WPA2-PSK】、【WPA-PSK/WPA2-PSK】以外に設定した場合、簡単接続（WPS機能）が無効となります。

一部のゲーム機などで【WEP】のみ対応の場合は、本設定をWEPにすると、他の無線LAN機器のセキュリティが低下します。そのため、セカンダリネットワークのみをWEPに設定して、プライマリネットワークと分けて使用することでセキュリティー低下を抑えることができます。
【無線LAN設定⇒(無線n/g/b設定または、無線n/a設定)セカンダリネットワーク】
802.11nの規格ではWEPが非サポートのため、セキュリティー【WEP】を使用した場合、「802.11nモード」設定が無効となります。





無線LANセキュリティーの表示例

暗号化規格別セキュリティーレベル

セキュリティー設定	無効	WEP (64-bit)	WEP (128-bit)	WPA/WPA2 (TKIP)	WPA/WPA2 (AES)
セキュリティーレベル	なし	低←			→高

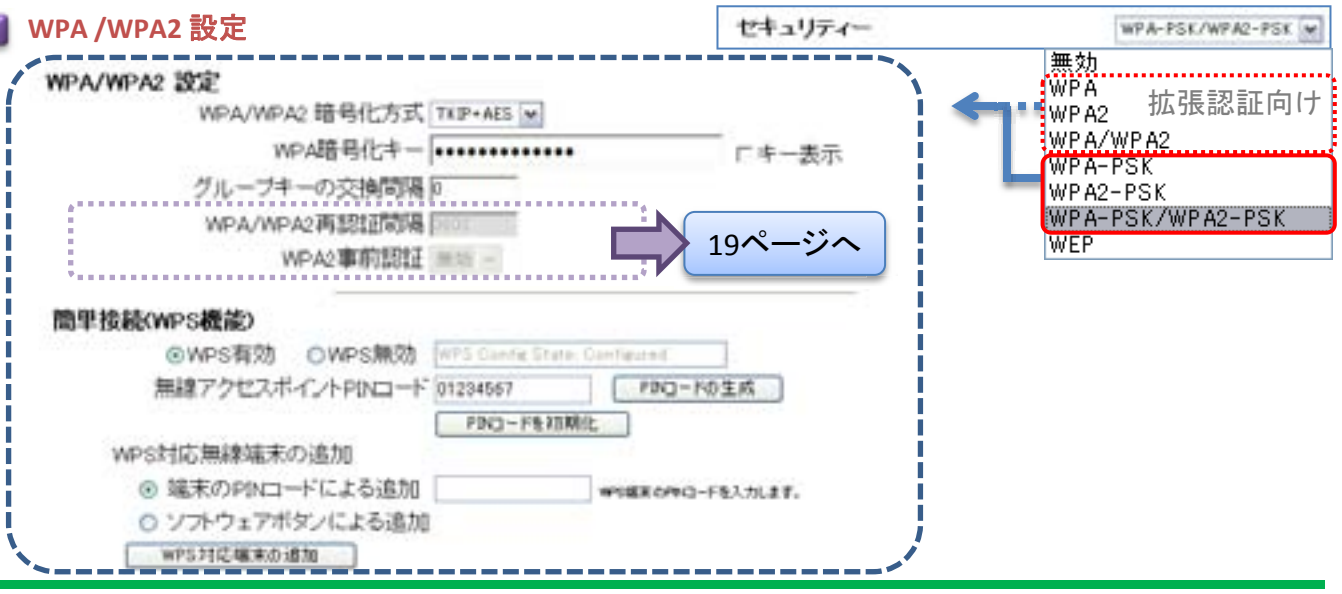
Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

無線n/g/b設定(2.4GHz) 無線n/a設定(5GHz)

無線n/g/b(n/a)設定 | プライマリネットワーク | セカンダリネットワーク | アクセス制限 | 無線ブリッジ | WMM設定

WPA /WPA2 設定

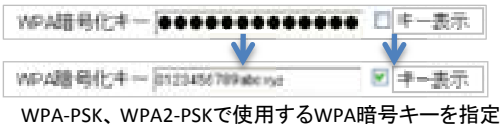


WPA/WPA2 暗号化方式 TKIP+AES

WPA及びWPA2で使用する暗号化方式を指定します。セキュリティ強度が高く、処理速度の低下のない[AES]のみか、互換性を優先して両対応の[TKIP+AES]を選択します。[TKIP+AES]の設定の場合、無線LAN端末が両対応であれば[AES]を使用します。
(TKIPで接続した場合、最大転送速度は54Mbpsに制限されます。)

初期値:TKIP+AES

WPA暗号化キー



【WPA暗号化キー】は7文字以下の場合エラーとなります。
文字数は13文字以上を推奨します。

WPA-PSK、WPA2-PSKで使用するWPA暗号キーを指定します。また、[キー表示]のチェックを入れると使用中の暗号化キーを確認することができます。

初期値:本製品側面のラベルに記載されている「WPA暗号キー」をご確認ください。

グループキーの交換間隔 0

グループキーの交換間隔を秒単位で指定します。
初期値:0

必要な場合以外は変更しないでください。

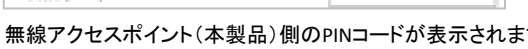
簡単接続(WPS機能)

Windows PCのWPSを使用して別のアクセスポイントに変更する場合、PCの再起動が必要になる場合があります。

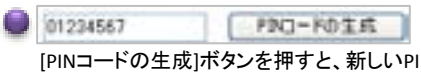
WPS対応端末では、WPS(Wi-Fi Protected Setup)機能を利用して、WPA-PSK または、WPA2-PSKのセキュリティーに簡単接続することができます。
WPS機能の有効/無効を指定します。本機能はセキュリティーが"WPA-PSK", "WPA2-PSK", "WPA-PSK/WPA2-PSK" 以外では利用できません。

初期値:WPS有効

本製品のPINコードをWPS対応端末に登録する場合



無線アクセスポイント(本製品)側のPINコードが表示されます。
このPINコードをWPS対応端末に登録することで接続することができます。



[PINコードの生成]ボタンを押すと、新しいPINコードが生成されます。

[PINコードを初期化]ボタンを押すと初期のPINコードに戻ります。

WPS対応端末のPINコードを本製品に登録する場合

WPS対応端末を操作し、端末側のPINコード確認します。
次に、上図の[端末のPINコードによる追加]を選択し、右側の入力欄に端末側のPINコードを入力します。
[WPS対応端末の追加]ボタンを押すと、右のような[WPS端末の追加]画面に切り替わり、接続が問題なく完了すると、[WPS端末の追加終了]画面に切り替わります。

WPS対応端末のプッシュボタン方式を使い登録する場合

WPS対応端末を操作し、端末側のWPS押しボタンまたは、それに相当する機能を有効にします。
次に、上図の[ソフトウェアボタンによる追加]を選択します。
[WPS対応端末の追加]ボタンを押すと、右のような[WPS端末の追加]画面に切り替わり、接続が問題なく完了すると、[WPS端末の追加終了]画面に切り替わります。

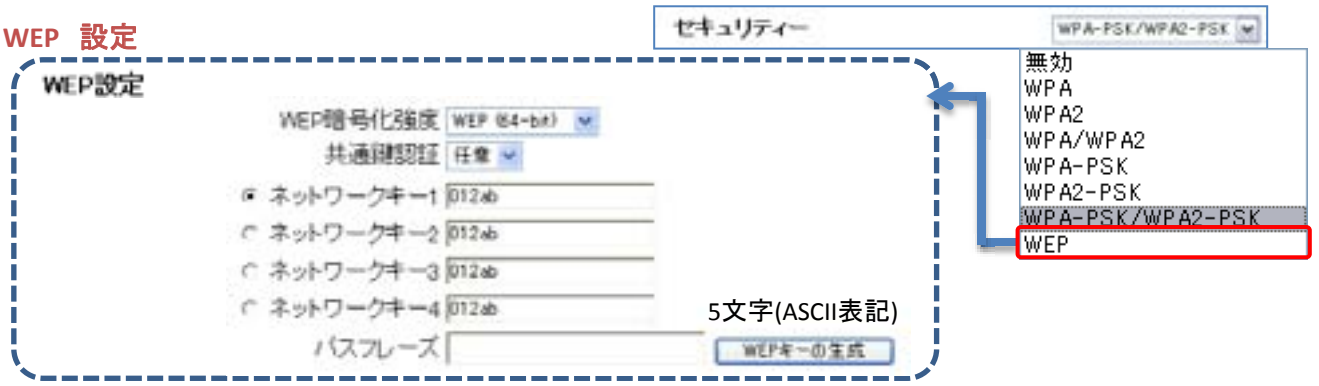
Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

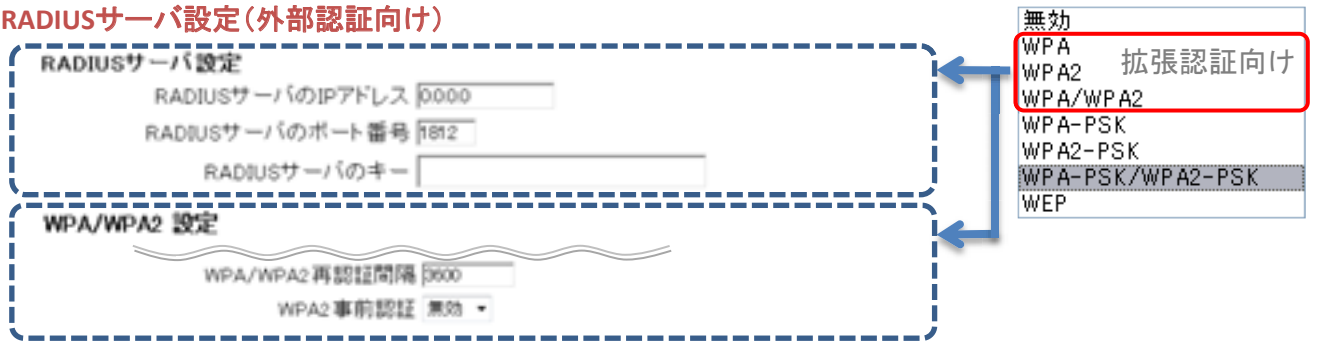
無線n/g/b設定(2.4GHz) 無線n/a設定(5GHz)

無線n/g/b(n/a)設定 | プライマリネットワーク | セカンダリネットワーク | アクセス制限 | 無線ブリッジ | WMM設定

WEP 設定



RADIUSサーバ設定(外部認証向け)



WEP暗号化強度

セキュリティーの項目を"WEP"に設定した場合に本設定が表示されます。WEP接続の暗号化強度を指定します。
WPA/WPA2と比べ、セキュリティ強度は低くなります。WPA/WPA2と共存させる場合はセカンダリSSID(サードSSID)を使用します。

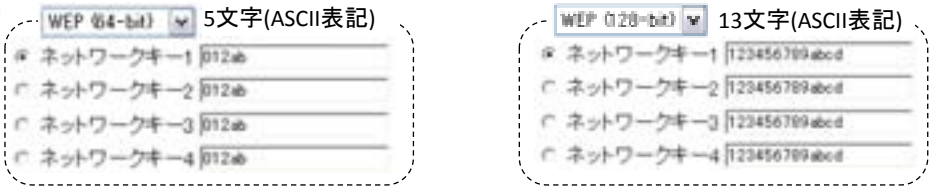
初期値:WEP(128-bit) ・・・セキュリティ:WEP設定時

共通鍵認証

必要な場合以外は変更しないでください。

無線LAN接続の認証にWEPキーを用いて認証するか指定します。
必須の場合はWEPキーを用いて認証しますが、端末側の設定が対応していない場合接続することができません。
初期値:任意

ネットワークキー



無線LAN暗号化方式WEPのネットワークキーの確認と変更ができます。ネットワークキーはWEP暗号化強度によって文字数が決まっています。
文字数の過不足があるとエラーが表示されます。ネットワークキーは4つまで設定することが可能です。
ネットワークキーの初期値 : (自動生成)
使用するネットワークキー :ネットワークキー:1

接続端末の初期値は、ネットワークキー1が使用されますので、必要な場合以外は変更しないでください。

パスフレーズ

ネットワークキーの文字列をパスフレーズより自動生成することができます。
パスフレーズに文字列(英数字)を入力し、[WEPキーの生成]ボタンを押すとネットワークキー1~4全てに同じ文字列が生成され、設定されます。

RADIUSサーバ設定

外部認証用のRADIUSサーバのIPアドレスとポート番号を指定します。また、RADIUSサーバのキーを指定します。

WPA/WPA2設定

WPA/WPA2(RADIUSサーバ使用時)の、再認証間隔を指定します。

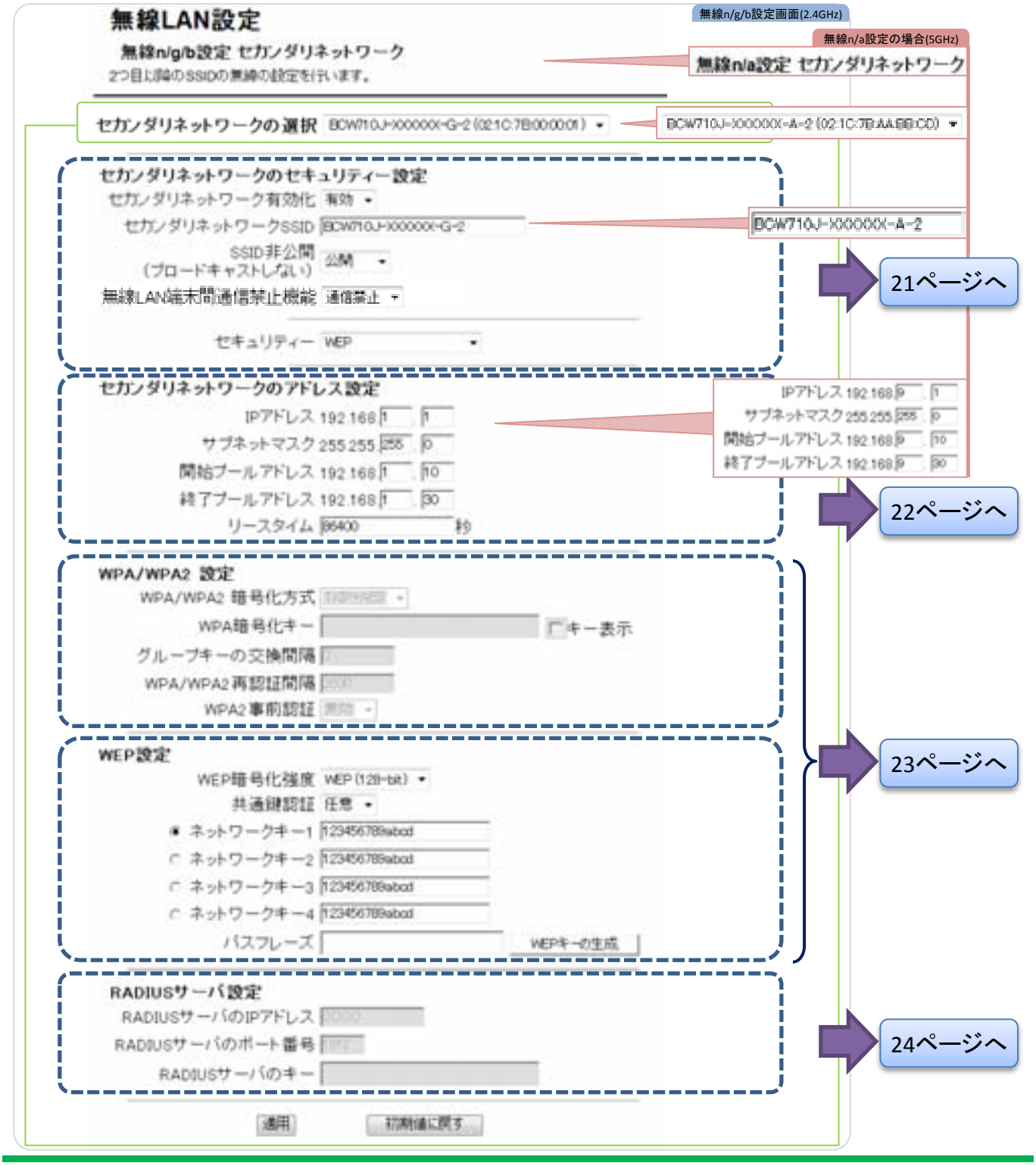
WPA2(RADIUSサーバ使用時)の、事前認証を使用するか設定します。

Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

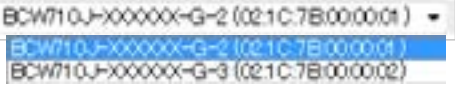
無線n/g/b設定(2.4GHz) 無線n/a設定(5GHz)

無線n/g/b(n/a)設定 | プライマリネットワーク | セカンダリネットワーク | アクセス制限 | 無線ブリッジ | WMM設定

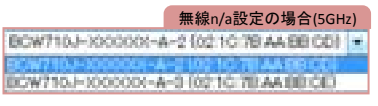


セカンダリネットワークの選択 BCW710J-XXXXXX-G-2 (02:1C:7B:00:00:01)

・・・SSID名（MACアドレス）



無線n/a設定の場合(5GHz)



無線LANのセカンダリネットワークの設定を行います。プライマリネットワークのSSIDとは別に、2つのSSIDのネットワークを追加できます（マルチSSID）。
設定を変更または確認するSSID名を選択します。

適用 初期値に戻す

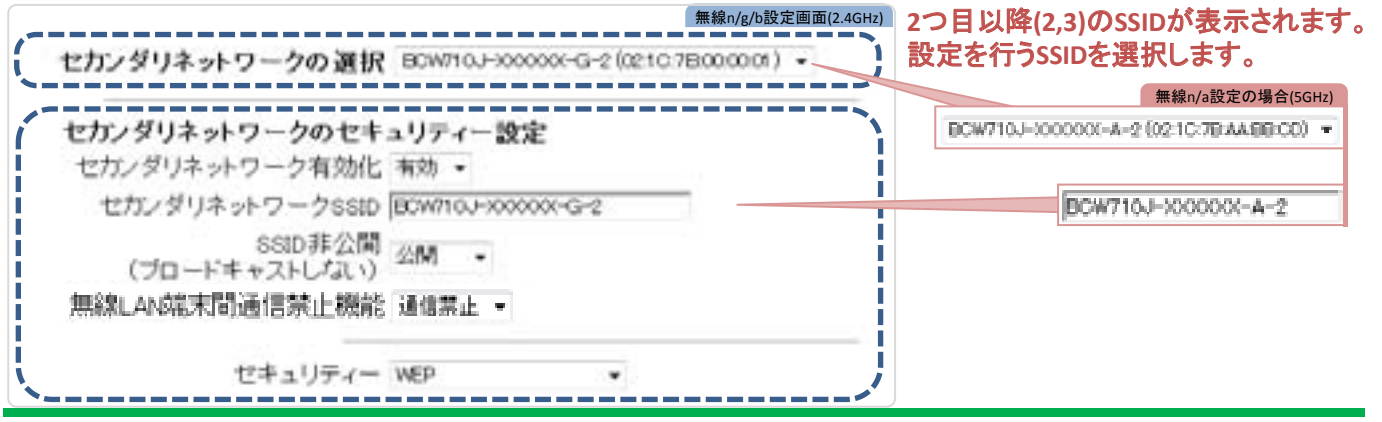
・上記の変更内容を反映させる場合は、**[適用]**ボタンを押します。
・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、**[初期値に戻す]**ボタンを押します。

Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

無線n/g/b設定(2.4GHz)　無線n/a設定(5GHz)

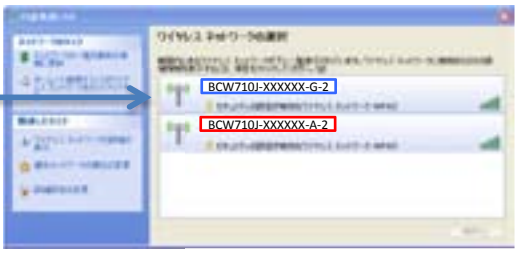
無線n/g/b(n/a)設定 | プライマリネットワーク | セカンダリネットワーク | アクセス制限 | 無線ブリッジ | WMM設定



セカンダリネットワーク有効化 有効 → 無効 / 有効

無線LANのセカンダリネットワークの有効/無効を指定します。
初期値：無効

セカンダリネットワークSSID

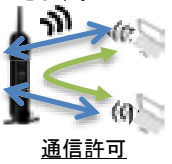


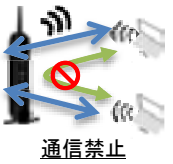
無線LANで使用するアクセスポイントの識別名を指定します。
無線 n/g/b 設定初期値：「プライマリーSSID名（-G）」+「-*」（*=2, 3）
無線 n/a 設定初期値：「プライマリーSSID名（-A）」+「-*」（*=2, 3）

SSID非公開（ブロードキャストしない） 公開

「SSID非公開」を"公開"にした場合、無線LAN端末から本ネットワークSSIDを検索することができます。
"非公開"に設定した場合は、検索することができません。
初期値：公開

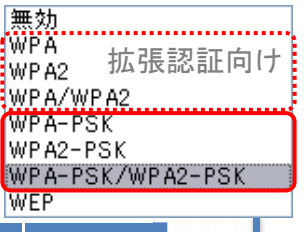
無線LAN端末間通信禁止機能 通信禁止 → 通信許可 / 通信禁止


通信許可


通信禁止

同じネットワークSSIDに接続している無線LAN端末間の通信を遮断することができます。
初期値：通信禁止

セキュリティー WEP



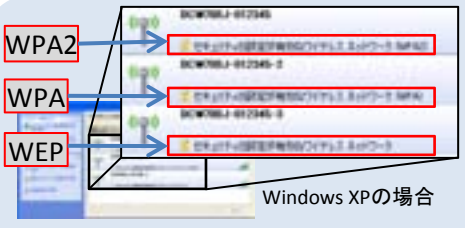
無線LANの暗号化規格を指定します。WPA/WPA2(AES)がセキュリティーレベルが高く、次にWPA/WPA2(TKIP)となります。"WEP"については、セキュリティーが低いため、セキュリティーを必要としない通信のみに使用することを推奨します。"無効"の場合、無線LAN端末が自由に接続することが可能となり、暗号化もされませんので使用しないことを推奨します。
初期値：WEP

セキュリティー	無効	WPA	WPA2	WPA/WPA2	WPA-PSK	WPA2-PSK	WPA-PSK/WPA2-PSK	WEP
外部認証サーバ	–	必要	必要	必要	不要	不要	不要	不要
一般家庭向け	△	×	×	×	○	◎	◎	△

"WPA","WPA2", "WPA/WPA2"は拡張認証向けです。"WPA-PSK", "WPA2-PSK", "WPA-PSK/WPA-PSK2"をご使用ください。
"WPA-PSK", "WPA2-PSK"の「PSK(Pre-Shared Key)」は認証方式となり、共有キーを使用して認証・暗号化します。

一部のゲーム機などで【WEP】のみ対応の場合は、本設定を【WEP】にすると、他の無線LAN機器のセキュリティが低下します。そのため、セキュリティーを必要としない通信のみに限定してセカンダリネットワークを使用します。
プライマリネットワークとセカンダリネットワークを分けて使用することで、セキュリティーの低下を抑えることができます。

【WPA-PSK/WPA2-PSK】は【WPA-PSK】、【WPA2-PSK】の混在モードです。接続端末が両方の暗号化規格に対応している場合、【WPA2-PSK】が使用されます。
802.11nの規格ではWEPが非サポートのため、セキュリティー【WEP】を使用した場合、「802.11nモード」設定が無効となります。



無線LANセキュリティーの表示例

暗号化規格別セキュリティレベル

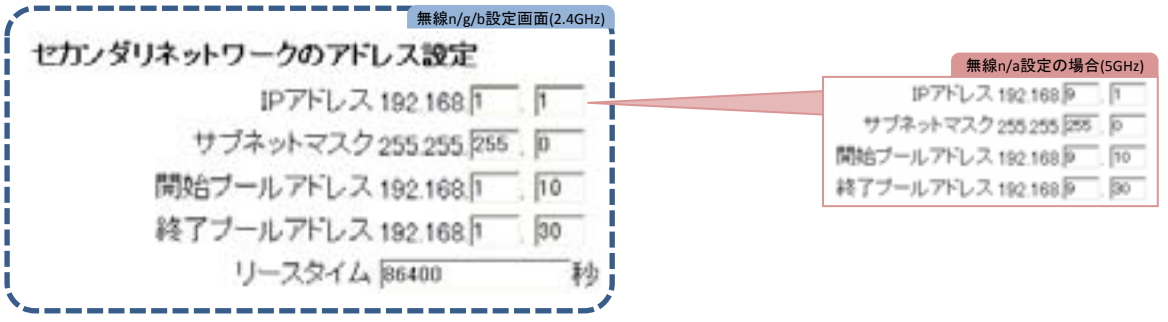
セキュリティー設定	無効	WEP (64-bit)	WEP (128-bit)	WPA/WPA2 (TKIP)	WPA/WPA2 (AES)
セキュリティーレベル	なし	低←			→高

Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

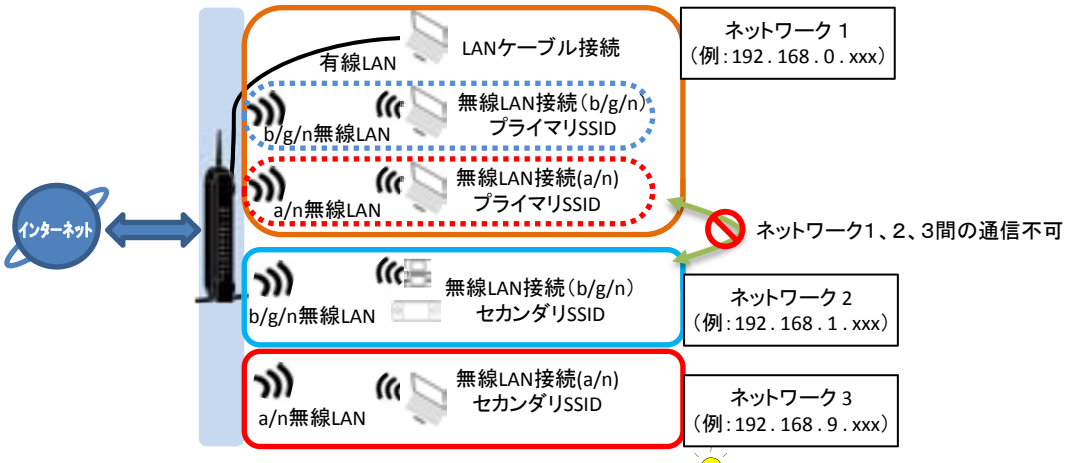
無線n/g/b設定(2.4GHz) 無線n/a設定(5GHz)

無線n/g/b(n/a)設定 | プライマリネットワーク | セカンダリネットワーク | アクセス制限 | 無線ブリッジ | WMM設定



セカンダリネットワークのアドレス設定

セカンダリネットワークのアドレスを設定します。
セカンダリネットワークは、プライマリネットワーク（有線LANネットワークを含む）と異なるネットワークアドレスとなります。
そのため、セカンダリネットワークでは、プライマリネットワークの無線LAN及び有線LANとの通信はできません。



セカンダリネットワークからは、本製品の設定画面にアクセスできません。プライマリネットワークからおこなってください。

IPアドレス 192.168.1.1

セカンダリネットワークのゲートウェイIPアドレスを指定します。

無線n/g/b 設定	初期値(2nd)	192 . 168 . 1 . 1	初期値(3rd)	192 . 168 . 2 . 1
無線 n/a 設定	初期値(2nd)	192 . 168 . 9 . 1	初期値(3rd)	192 . 168 . 10 . 1

LAN側のIPアドレスを変更する場合
192.168.**0**.1 (無線n/g/b及び 無線n/aのプライマリネットワーク)、
192.168.**1**.1 , 192.168.**2**.1 (無線n/g/bセカンダリネットワーク)、
192.168.**9**.1 , 192.168.**10**.1 (無線n/aセカンダリネットワーク)は、
DHCPサーバで予約されているため、変更できない場合があります。この場合「DHCPのIPアドレス範囲の指定が間違っています。」というエラーが表示されます。
使用していないIPアドレス範囲を確認してから変更してください。

サブネットマスク 255.255.255.0

セカンダリネットワークのサブネットマスクを指定します。
初期値：255 . 255 . 255 . 0

開始アドレス 192.168.1.10 / 終了アドレス 192.168.1.30

セカンダリネットワークのDHCPサーバから払い出されるアドレスレンジを、開始アドレスと終了アドレスで指定します。

無線n/g/b 設定	初期値（2nd）	初期値（3rd）
開始アドレス	192 . 168 . 1 . 10	192 . 168 . 2 . 10
終了アドレス	192 . 168 . 1 . 30	192 . 168 . 2 . 30

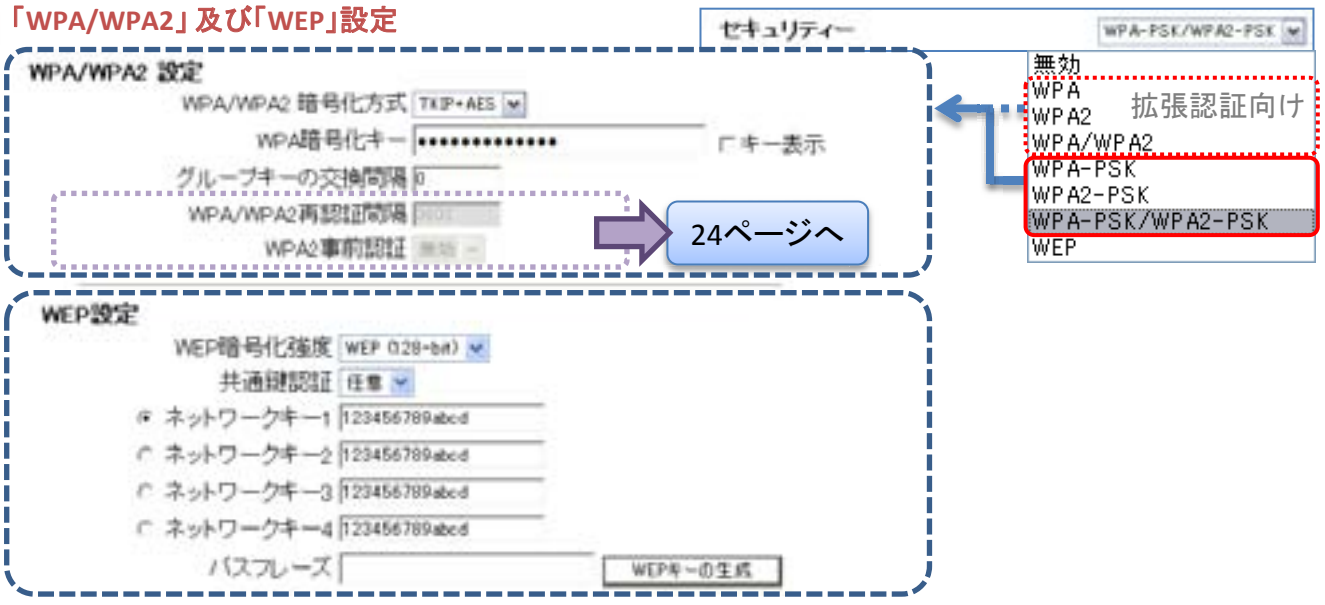
無線n/a 設定	初期値（2nd）	初期値（3rd）
開始アドレス	192 . 168 . 9 . 10	192 . 168 . 10 . 10
終了アドレス	192 . 168 . 9 . 30	192 . 168 . 10 . 30

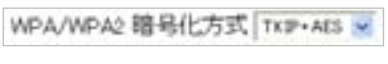
リースタイム 86400 秒

DHCPのリースタイムを指定します。
初期値：86400

Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

「WPA/WPA2」及び「WEP」設定





WPA及びWPA2で使用する暗号化方式を指定します。セキュリティ強度が高く、処理速度の低下のない[AES]のみか、互換性を優先して両対応の[TKIP+AES]を選択します。[TKIP+AES]の設定の場合、無線LAN端末が両対応であれば[AES]を使用します。
(TKIPで接続した場合、最大転送速度は54Mbpsに制限されます。)

初期値：TKIP+AES

【WPA暗号化キー】は7文字以下の場合エラーとなります。
文字数は13文字以上を推奨します。

WPA-PSK、WPA2-PSKで使用するWPA暗号キーを指定します。また、[キー表示]のチェックを入れると使用中の暗号化キーを確認することができます。

初期値：本製品の側面にあるラベルに記載されている 「WPA暗号キー」 をご確認ください。

グループキーの交換間隔を秒単位で指定します。

初期値：0

必要な場合以外は変更しないでください。

セキュリティーの項目を"WEP"に設定した場合に本設定が表示されます。WEP接続の暗号化強度を指定します。
WPA/WPA2と比べ、セキュリティ強度は低くなります。WPA/WPA2と共存させる場合はセカンダリSSID（サードSSID）を使用します。

初期値：WEP(128-bit)　・・・セキュリティ：WEP設定時

必要な場合以外は変更しないでください。

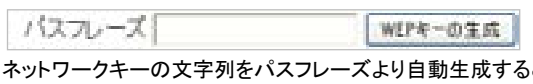
無線LAN接続の認証にWEPキーを用いて認証するか指定します。
必須の場合はWEPキーを用いて認証しますが、端末側の設定が対応していない場合接続することができません。

初期値：任意

無線LAN暗号化方式WEPのネットワークキーの確認と変更ができます。ネットワークキーはWEP暗号化強度によって文字数が決まっています。
文字数の過不足があるとエラーが表示されます。ネットワークキーは4つまで設定することが可能です。

ネットワークキーの初期値　：(自動生成)
使用するネットワークキー　：ネットワークキー：1

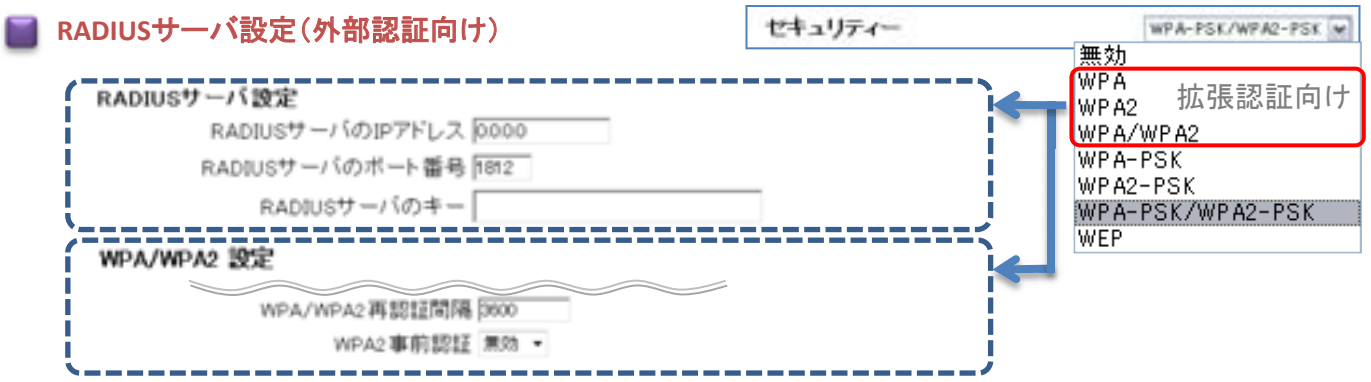
接続端末の初期値は、ネットワークキー1が使用されますので、必要な場合以外は変更しないでください。



ネットワークキーの文字列をパスフレーズより自動生成することができます。
パスフレーズに文字列（英数字）を入力し、[WEPキーの生成]ボタンを押すとネットワークキー1～4全てに同じ文字列が生成され、設定されます。

Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

RADIUSサーバ設定（外部認証向け）



RADIUSサーバ設定

外部認証用のRADIUSサーバのIPアドレスとポート番号を指定します。また、RADIUSサーバのキーを指定します。

WPA/WPA2設定

WPA/WPA2(RADIUSサーバ使用時)の、再認証間隔を指定します。

WPA2(RADIUSサーバ使用時)の、事前認証を使用するか設定します。

Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

無線n/g/b設定(2.4GHz) 無線n/a設定(5GHz)

無線n/g/b(n/a)設定 | プライマリネットワーク | セカンダリネットワーク | アクセス制限 | 無線ブリッジ | WMM設定

無線インターフェース

アクセス制限を行うネットワークのSSID名を選択します。

MACアドレス限定方法 → 無効 / 許可 / 拒否

選択した無線LANインターフェースにおいて、MACアドレスによるアクセス制限機能を設定します。
・[無効]現在の無線インターフェースにおいてアクセス制限機能を無効にします。
・[許可]現在の無線インターフェースにおいて指定したMACアドレスのみアクセスを許可します。
・[拒否]現在の無線インターフェースにおいて指定したMACアドレスのみアクセスを拒否にします。

初期値：無効

MACアドレス(例:00:11:22:33:44:55)

各インターフェースにMACアドレスを16件まで登録ができます。

適用 初期値に戻す

・上記の変更内容を反映させる場合は、**[適用]**ボタンを押します。
・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、**[初期値に戻す]**ボタンを押します。

無線接続端末

MACアドレス	Age (s)	RSSI (dBm)	IP Addr	Host Name	Mode	Speed (kbps)
ZZ:ZZ:ZZ:00:00:00	0	-25	192.168.0.10	NotePC	n	300000
YY:YY:YY:00:00:00	1	-30	192.168.1.10	MobilePC	g	65000

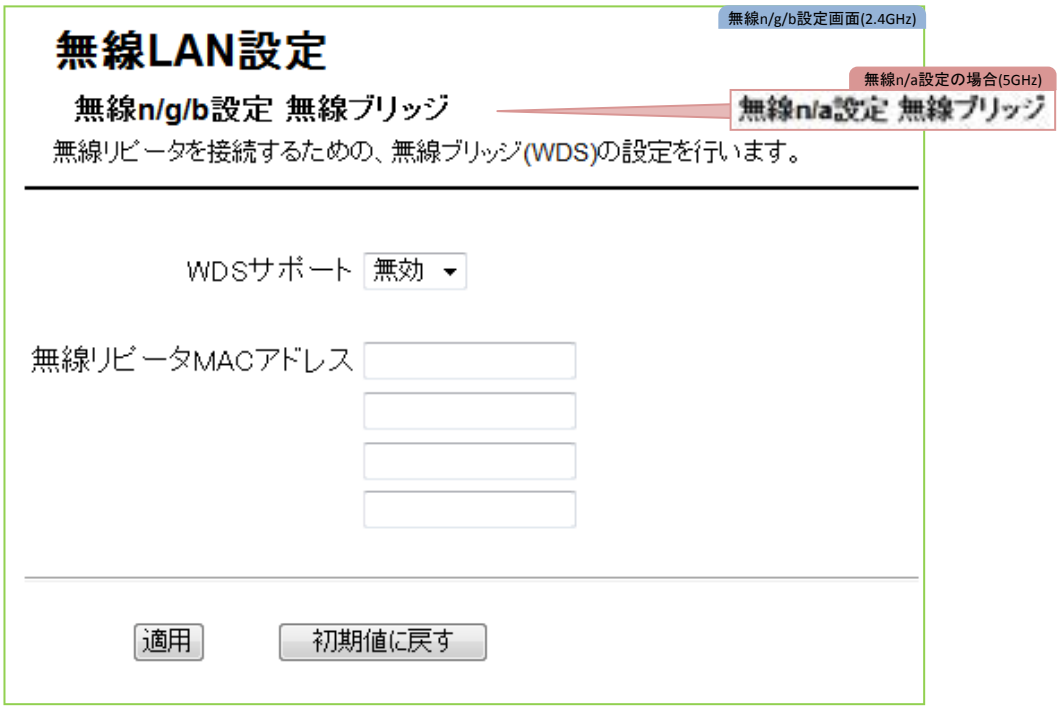
本製品に無線LANで接続されている端末のMACアドレスなどの情報が表示されます。
無線n/g/b (2.4GHz)または無線n/a (5GHz)で接続されている端末はそれぞれのページに表示されます。

Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

無線n/g/b設定(2.4GHz) 無線n/a設定(5GHz)

無線n/g/b(n/a)設定 | プライマリネットワーク | セカンダリネットワーク | アクセス制限 | 無線ブリッジ | WMM設定



■ WDSサポート 無効 → 無効 / 有効

WDS（Wireless Distribution System）対応の無線リピータを接続することで、無線のアクセスポイントを中継することが可能です。
初期値： 無効

● 無線リピータMACアドレス

無線リピーターのMACアドレスを登録します。

WDS対応リピーターと本製品を無線で接続する必要があります。
詳しくは、WDS対応リピーターのマニュアルなどをご確認ください。

■ 適用 初期値に戻す

・上記の変更内容を反映させる場合は、**[適用]**ボタンを押します。
・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、**[初期値に戻す]**ボタンを押します。

Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

無線n/g/b設定(2.4GHz) 無線n/a設定(5GHz)

無線n/g/b(n/a)設定 | プライマリネットワーク | セカンダリネットワーク | アクセス制限 | 無線ブリッジ | WMM設定

WMMサポート 自動 → 自動 / なし

WMM（WiFi MultiMedia）のQOS（優先制御）をサポートさせるかどうか設定します。
初期値： 自動

No-ACKモード 無効 → 有効 / 無効

無線LAN端末に対してACKを送信しないようにする機能を有効にするか指定します（WMM有効時のみ）。
初期値： 無効

WMM省電力設定 有効 → 有効 / 無効

WMMの機能拡張の省電力設定を有効にするか設定します。
初期値： 有効

EDCAパラメータ設定

EDCA (Enhanced Distributed Channel Access) では、4つのAC（アクセスカテゴリ)に分類して、優先度の高いものを優先して送信します。
AP側 ：本機側（アクセスポイント）側の設定です。
STA側 ：無線LAN端末（ステーション）側の設定です。

・CW_min 、CW_max (CW:Contention Windows)：データ送信の衝突回避のための無通信の待機時間。
乱数範囲（最小値と最大値）を指定。
・AIFSN(Arbitration Inter Frame Space Number) ：フレーム送信間隔を指定。
・TXOP(Transmission Opportunity)：送信権を得た1回での占有できる時間。
・Discard Oldest first ：[on]バッファ領域を超えた場合に古いものから破棄します。

優先度	type
AC_BE(通常)	Best Effort
AC_BK(低)	Back Ground
AC_VI(優先)	Video
AC_VO(最優先)	Voice

適用 初期値に戻す

・上記の変更内容を反映させる場合は、**[適用]**ボタンを押します。
・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、**[初期値に戻す]**ボタンを押します。

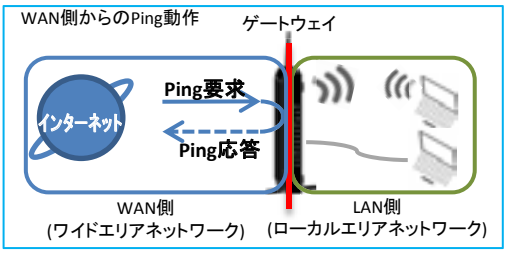
Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

ゲートウェイオプション | IPアドレスフィルタ | MACアドレスフィルタ | ポートフィルタ | ポートフォワード | ポートトリガー

WAN側からのPing応答の禁止 有効

WAN側からの本製品宛のPing要求に対してPingの応答を禁止するか指定します。
初期値:有効(Pingの応答をしない)



IPsecパススルー 有効

インターネットで暗号化通信を行うための規格。仮想プライベートネットワーク(VPN)などで利用されます。この通信を通過させるか指定します。
初期値:無効(IPsecを通さない)　(IPsec: Security Architecture for IP)

PPTPパススルー 有効

インターネットで暗号化通信を行うための規格。仮想プライベートネットワーク(VPN)などで利用されます。この通信を通過させるか指定します。
初期値:無効(PPTPを通さない)　(PPTP: Point-to-Point Tunneling Protocol)

マルチキャスト疎通の有効化 有効

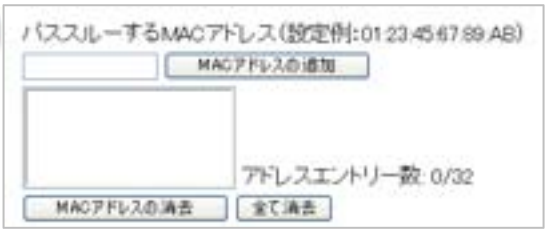
マルチキャストを通すか指定します。
初期値:有効(マルチキャストを通す)

UPnPの有効化 有効

UPnP機能を使用するか指定します。
無効にした場合UPnP機能を利用した音声・映像チャット、ゲームなどの通信でアプリケーション・機器が制限されたり、動作しなくなる可能性があります。
初期値:有効　(UPnP: Universal Plug and Play)

適用　初期値に戻す

・上記の変更内容を反映させる場合は、**[適用]**ボタンを押します。
・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、**[初期値に戻す]**ボタンを押します。



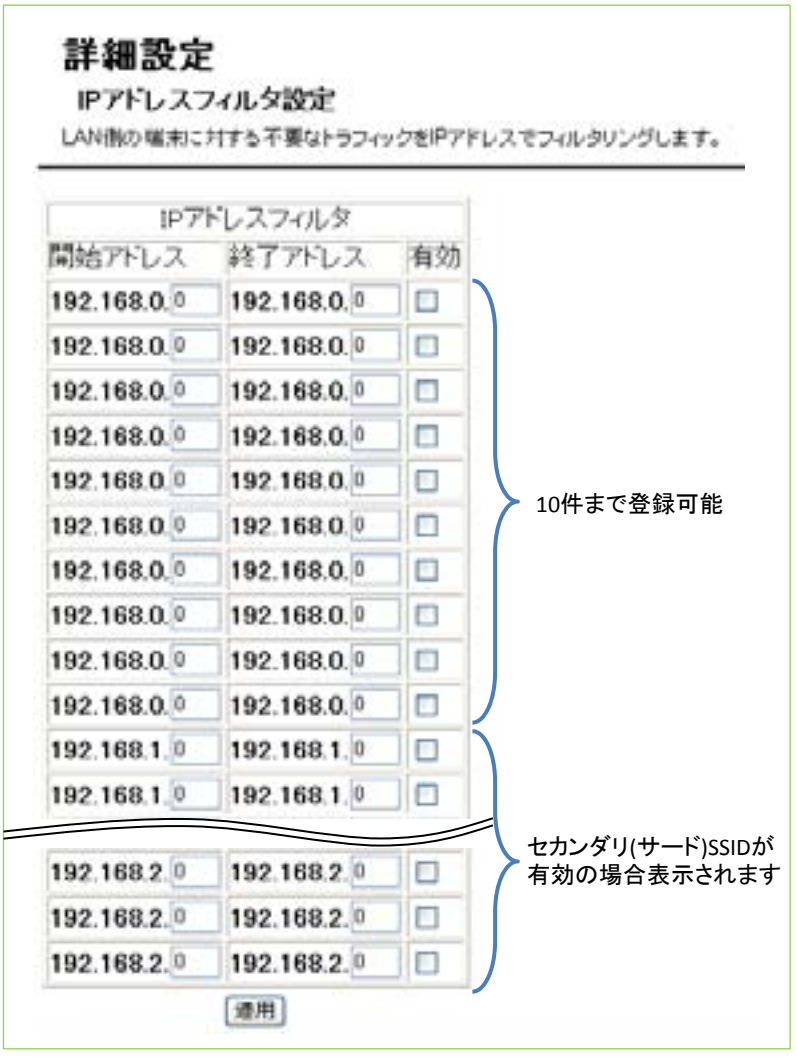
ルータを経由せずにパススルーをさせる機器のMACアドレスを指定します。
MACアドレスを入力し、[MACアドレスの追加]ボタンを押します。
MACアドレスを削除する場合は、[全て消去]ボタンを押すか、削除する値を選択して、[MACアドレスの消去]ボタンを押します。
最大32件まで登録可能です。

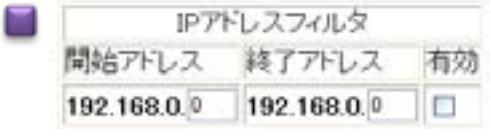
ケーブルテレビ事業者から指示があった場合を除き、設定しないでください。

Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

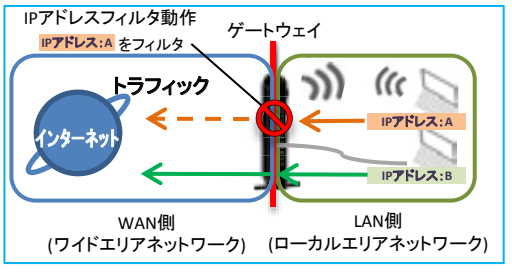
ゲートウェイオプション | IPアドレスフィルタ | MACアドレスフィルタ | ポートフィルタ | ポートフォワード | ポートトリガー





指定したLAN側のIPアドレスからのトラフィックをブロックします。
ブロックするLAN側のIPアドレスを、開始アドレスと終了アドレスで指定します。
ブロックする場合はチェックを入れます。
最大10件分を登録できます。

初期値：無効（ブロックしない）

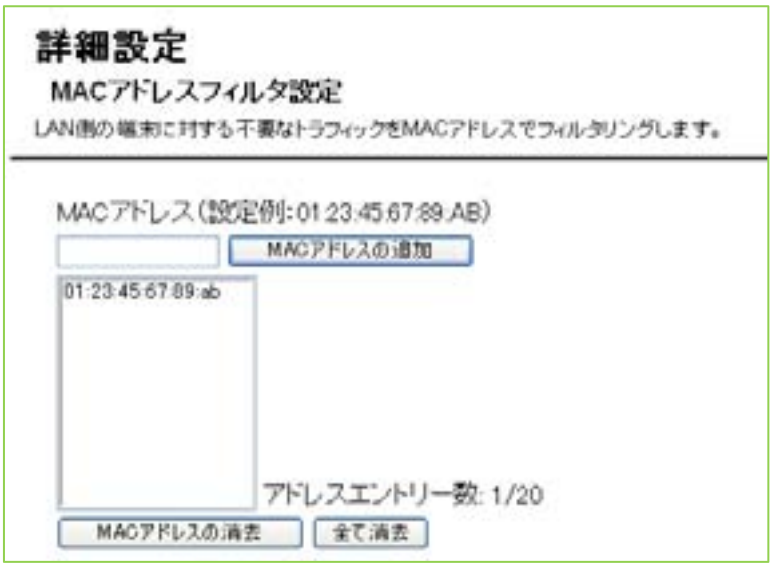


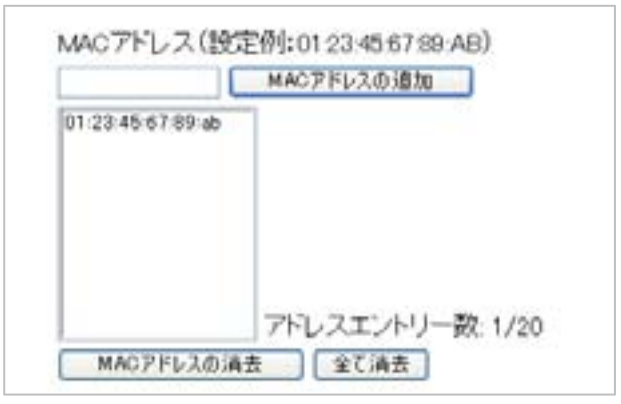
上記の変更内容を反映させる場合に適用ボタンを押します。

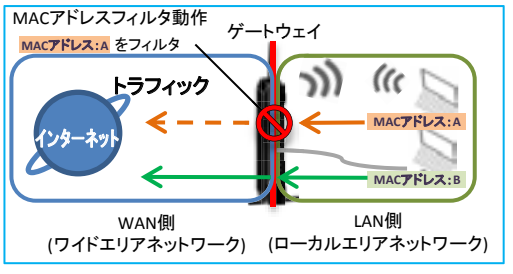
Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

ゲートウェイオプション | IPアドレスフィルタ | MACアドレスフィルタ | ポートフィルタ | ポートフォワード | ポートトリガー







指定したLAN側のMACアドレスからのトラフィックをブロックします。
ブロックするMACアドレスを指定します。
最大20件のMACアドレスを登録できます。

初期値:(MACアドレス未登録、ブロックしない)

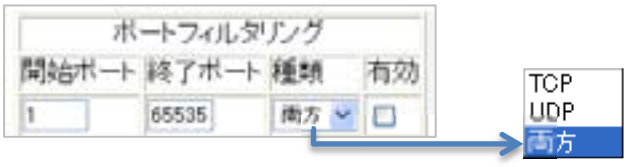
適用

上記の変更内容を反映させる場合に適用ボタンを押します。

Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

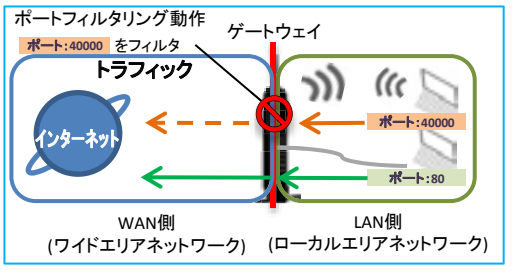
左側サブメニュー

ゲートウェイオプション | IPアドレスフィルタ | MACアドレスフィルタ | ポートフィルタ | ポートフォワード | ポートトリガー



指定したLAN側のポート番号からのトラフィックをブロックします。
・ブロックする開始ポート番号と終了ポート番号を指定します。
・トラフィックの種類[TCP][UDP][両方]を指定します。
・ブロックする場合は、横の有効にチェックを入れます。
最大10件分の範囲を登録できます。

初期値： 無効（ブロックしない）

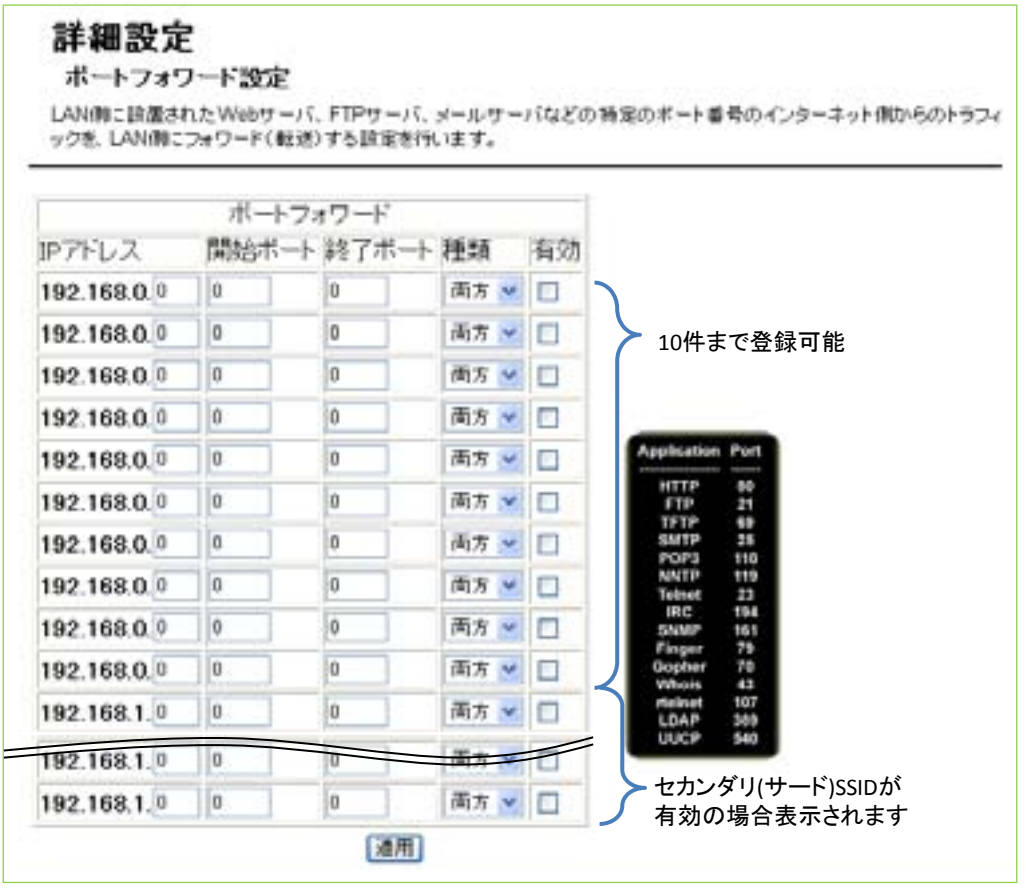


上記の変更内容を反映させる場合に適用ボタンを押します。

Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

ゲートウェイオプション | IPアドレスフィルタ | MACアドレスフィルタ | ポートフィルタ | ポートフォワード | ポートトリガー



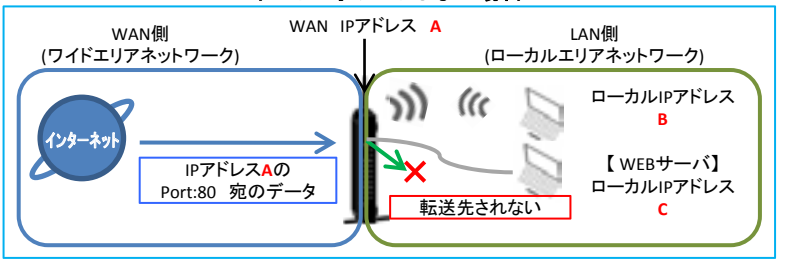
ポートフォワード設定(ポート開放)

WAN側からの特定ポート番号(WEBサーバーなど)宛のトラフィックをLAN側に転送(フォワード)します。
・転送先のLAN側のIPアドレスを指定します。
・転送する開始ポート番号と終了ポート番号を指定します。
・トラフィックの種類[TCP] [UDP] [両方]を指定します。
・設定を有効にする場合は、横の有効にチェックを入れます。
最大10件分の範囲を登録できます。

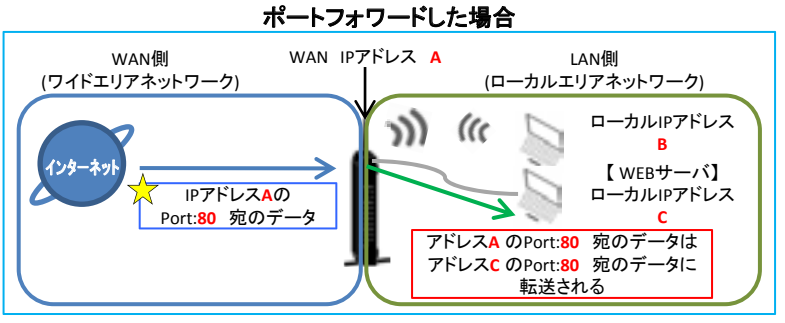
初期値: 無効(転送しない)

設定を変更した場合、既存のセッションが切断されるまでは、セッションが解除されません。

ポートフォワードしない場合



ポートフォワードした場合



設定例

転送先 IPアドレス	ポート 先頭番号	ポート 終了番号	種類	有効
(図上では アドレスC) 192.168.0.11	80	80	UDP	(チェック)

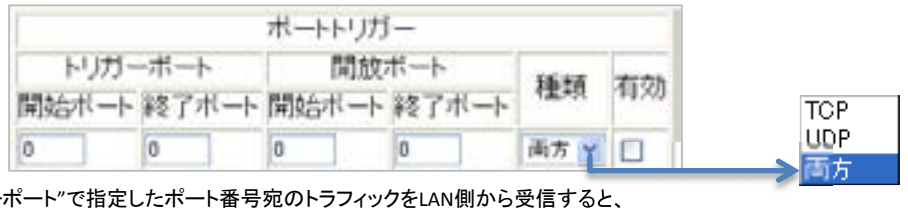
適用

上記の変更内容を反映させる場合に適用ボタンを押します。

Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

ゲートウェイオプション | IPアドレスフィルタ | MACアドレスフィルタ | ポートフィルタ | ポートフォワード | ポートトリガー

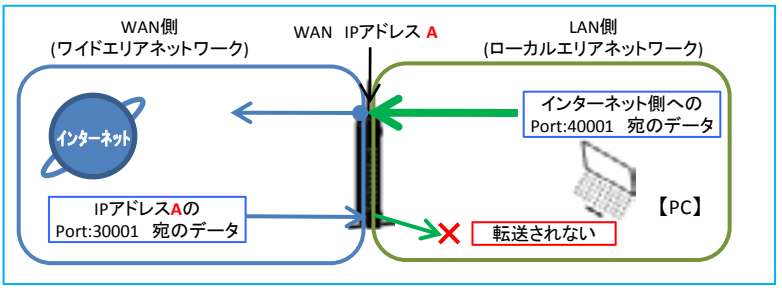


”トリガーポート”で指定したポート番号宛のトラフィックをLAN側から受信すると、
”開放ポート”で指定したポート番号宛のトラフィックをWAN側からLAN側へと開放します。
このWAN側からのトラフィックは、トリガーとなったLAN側の端末へ転送します。

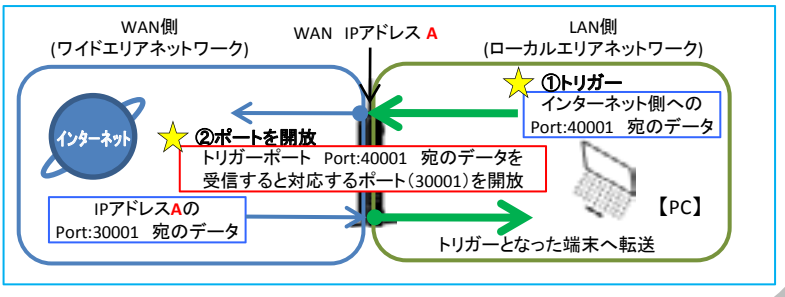
・トリガーポート：LAN側のトリガーとなるポート番号を指定します。
・開放ポート：トリガーを受けた際のWAN側からの開放するポート番号を指定します。
・トラフィックの種類[TCP][UDP][両方]を指定します。
・設定を有効にする場合は、横の有効にチェックを入れます。
最大10件分の範囲を登録できます。

初期値： 無効（開放及び転送しない）

ポートトリガーしない場合



ポートトリガーした場合



設定例

トリガーポート		開放ポート		種類	有効
先頭番号	終了番号	先頭番号	終了番号		
40001	40001	30001	30001	両方	（チェック）

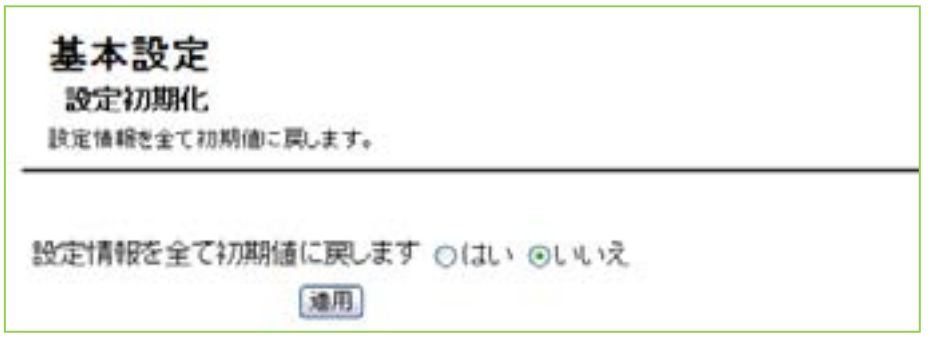
適用

上記の変更内容を反映させる場合に適用ボタンを押します。

Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

設定初期化



[はい]を選択後[適用]ボタンを押すと自動で再起動します。
再起動後、本製品の設定情報は工場出荷時の状態に戻ります。
起動が完了するまで、インターネットなどへの通信が切断されます。

WEBログイン用のパスワード情報も初期値に戻ります。

Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

無線LAN対応機器情報

パソコンOS	WPS対応	備考
Windows XP	×	OS標準ではWPS非対応*1
Windows Vista	○	OS標準ではWPSのPINコード方式にのみ対応*1
Windows 7	○	OS標準ではWPSのプッシュボタン方式にのみ対応*1
Mac OS X	×	OS標準ではWPS非対応*1

*1 :無線LAN端末のアプリケーション等により、対応する場合があります。

機器名	規格	セキュリティ			WPS対応	備考
		WEP	WPA	WPA2		
Nintendo DS® Nintendo DS® Lite	802.11	○	×	×	×	(2.4GHz帯、最大2Mbps)
Nintendo DS®i Nintendo DS®i LL Nintendo 3DS™/3DS™LL	802.11 b/g	○	○	○	○	旧ソフトはWEPのみ対応 旧ソフトはWPS接続不可
Wii®	802.11 b/g	○	○	○	×	有線LANはオプション
PSP® ・PSP-1000/2000/3000 ・PSP-N1000(PSP®go)	802.11 b	○	○ *2	×	×	・WPA(TKIP) ver.2.0以上 ・WPA(AES) ver.2.5以上
Play Station®Vita	802.11 b/g/n (2.4GHz帯のみ)	○	○	○	○	
PS3® (20Gモデル"CECHBxx"を除く)	802.11 b/g	○	○	○ *2	×	・WPAキー31文字まで ・有線LAN内蔵
XBOX360® ・XBOX360® ・XBOX360®S (XBOX360は無線オプション)	802.11 b/g/n (2.4GHz帯のみ)	○	○	○ *2	×	・有線LAN内蔵 ・型番Sから無線LAN内蔵
・iPod touch 第1～3世代 ・iPhone ・iPhone3G/3GS	802.11 b/g	○	○	○	×	(日本向け製品)
・iPod touch 第4世代 ・iPhone4/4S	802.11 b/g/n (2.4GHz帯のみ)	○	○	○	×	(日本向け製品)
・iPhone5 ・iPad/iPad2/New iPad	802.11 a/b/g/n (2.4/5GHz帯対応)	○	○	○	×	(日本向け製品)
Android 端末	端末により異なる	○	△	△	△	△:端末及びOSバージョンにより異なる

*2 :最新のファームウェアより対応

記載情報については記載時の情報であり変更されている場合があります。

※Microsoft、Windows XP、Windows Vista、Windows 7およびXbox 360は米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
※MAC OS X、iPod touch、IPad、iPhone/3G/3GS/4/4S/5 はApple Inc.の登録商標または商標です。iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
※NintendoDS/DS Lite/DSi/DSiLL/3DS/3DSLLおよびWiiは、任天堂の登録商標または商標です。
※PSP/Play Station Vita/PS3は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標または登録商標です。
※Android は、Google Inc.の商標または登録商標です。

Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.

ケーブルテレビ事業者欄

2012年　10月 17日　　初版発行

発行　株式会社ブロードネットマックス

ご契約のサービス内容などについては、ケーブルテレビ事業者にお問い合わせください。

Copyright © 2012 Broad Net Mux All rights Reserved.